

給湯暖房機 (BL認定品)

取扱説明書

エックスジェットオート

保証書付

JET AUTO

| | 型番 | 型式名 | BL品番 | 号数 |
|--------|-----------|------------|---------------|-----|
| シバトタイプ | 235-T720型 | GH-A160AW | XD2817KRSJWQ | 16号 |
| | 235-T722型 | GH-A160AT | XD2817KRS4JWQ | |
| | 235-T725型 | GH-A160AB | XD2817KRS8JWQ | |
| ハーフタイプ | 235-T730型 | GH-A161AWS | XD2818LRSJWQ | |
| | 235-T732型 | GH-A161ATS | XD2818LRS4JWQ | |
| | 235-T733型 | GH-A161AUS | XD2818LRS6JWQ | |
| | 235-T735型 | GH-A161ABS | XD2818LRS8JWQ | |

ハーフタイプの
エックス MARK IIからの取り替えで
本製品をご利用のお客様へ

- ・「エックス MARK II」とは、ご利用できる機能が給湯と暖房で、おふろに関する機能がない製品です。
- ・使い方(ご利用方法)は(→P.40~46)をご覧ください。

このたびは給湯暖房機をお買い上げいただきましてありがとうございます。

お使いになる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくお使いください。この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。内容をよくご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、型番をお知らせください。

| | ページ |
|---------------------|-----|
| もくじ | |
| こんなときにご利用ください | 1 |
| 安全に正しくお使いいただくために | 2 |
| この取扱説明書の表示について | 2 |
| 機器本体の表示について | 2 |
| 必ずお守りください | 2 |
| 各部の名称とはたらき | 8 |
| ご利用前の準備 | 14 |
| 機器の準備 | 14 |
| 現在時刻を合わせる | 15 |
| お湯を使うには | 16 |
| お湯を使用する | 16 |
| 優先を切り替える | 18 |
| デラックスタイプふるアダプター使用時 | |
| おふろを沸かす(ふる自動運転) | 19 |
| おふろのお湯を熱くする・沸かし直す | 21 |
| スタンダードタイプふるアダプター使用時 | |
| おふろを沸かす(ふる自動運転) | 23 |
| おふろのお湯を熱くする・沸かし直す | 25 |
| おふろのお湯をぬるくする | 27 |
| おふろのお湯をふやす | 28 |
| おふろを沸かす(予約運転) | 29 |
| ふる温度・ふる水位を変更するには | 31 |
| 暖房運転をするには | 33 |
| 暖房/浴室予備暖房運転をする | 33 |
| 暖房時の運転音を小さくする | 34 |
| キッチンタイマー | 35 |
| 知っている便利な機能 | 36 |
| ミストサウナ準備完了お知らせ機能 | 36 |
| 設定の変更をする | 37 |
| 音量を変更する | 37 |
| 省電力を解除する | 38 |
| 常に給湯温度でお湯を使用する | 39 |
| ご利用前の準備 | 40 |
| 現在時刻を合わせる | 40 |
| お湯を使うには(リモコンなしで使う) | 41 |
| お湯を使用する | 41 |
| お湯を使うには | 42 |
| 給湯温度を変更する | 42 |
| 暖房運転をするには | 44 |
| 暖房端末機器の運転/停止 | 44 |
| 暖房時の運転音を小さくする | 45 |
| 設定の変更をする | 46 |
| 音量を変更する | 46 |
| 冬期の凍結予防をするには | 47 |
| 点検のポイント・お手入れのしかた | 52 |
| 故障かな?と思ったら | 54 |
| アフターサービスについて | 57 |
| 「あんしん点検」のおすすめ | 58 |
| あんしん点検について | 58 |
| 設計上の標準使用期間について | 58 |
| 仕様一覧 | 59 |
| 保証書 | 裏表紙 |

ご利用の前に

使い方

エックス MARK IIからの取り替えでご利用の場合

必要なとき/困ったとき

① こんなときにご利用ください

快適な「お湯のある暮らし」のための便利な機能を豊富に揃えました。どうぞお役立てください。


◆お湯を使いたい◆

お湯を使いたい

まずは

「**運転**」を「**入**」

リモコンの給湯温度を確認したら



お湯の温度を変えたい

お風呂の温度? 給湯・シャワーの温度?

それなら

「**お風呂温度**」 (→P.31)

「**給湯温度**」 (→P.16)

「**給湯温度**」 (上/下)

◆お風呂に入りたい◆

| | | |
|---|--|---|
| <p>お風呂を沸かしたい(お湯張り)</p> <p>浴槽の栓はした? 浴槽のふたはした?</p> <p>確認したら</p> <p>「お風呂自動」 (→P.19・23)</p> | <p>入浴中にお湯が</p> <p>ぬるいな? 熱いな? 少ないいな?</p> <p>と感じたら</p> <p>「追っただき」 (→P.21・25)</p> <p>「ぬるく」 (→P.27)</p> <p>「たし湯」 (→P.28)</p> | <p>お風呂場から人を呼びたい</p> <p>台所または増設リモコンはついていますか?</p> <p>それなら</p> <p>「呼び出し」 ※238-T317型(浴室単体設置用)は呼び出しボタンおよび機能がありません。(→P.9)</p> |
|---|--|---|

◆保温時間を変更したい◆



保温時間の設定方法 (デラックスアダプターのみ)

| | |
|--|---|
| <p>お風呂自動運転開始時</p> <p>「お風呂自動」を2秒以上長押し (→P.20)</p> | <p>お風呂予約設定時</p> <p>「予約」を2秒以上長押し (→P.30)</p> |
|--|---|

※保温時間は、お風呂自動運転の開始時およびお風呂予約設定時のみ変更することができます。

◆お風呂アダプターのタイプを確認したい◆

お風呂アダプターの形状 (浴槽の中に取り付けてあります)

| | |
|--|---|
| <p>デラックスタイプ</p>  | <p>スタンダードタイプ</p>  |
|--|---|

① 安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

製品を正しくお使いいただくためや、お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

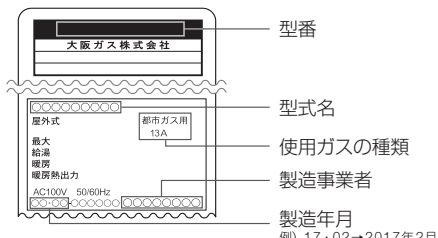
| | |
|-------------------|--|
| 危険 | この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。 |
| 警告 | この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。 |
| 注意 | この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。 |
| お願い | 安全・快適に使用していただくために、よく理解していただきたい内容を示しています。(→P.XX) 参照ページを示しています。 |
| 給湯温度、40℃です | リモコンから流れる音声を示しています。(音声は例です) |

■機器本体の表示について

以下の方法で、製品の型番をご確認のうえ、取扱説明書をご覧ください。

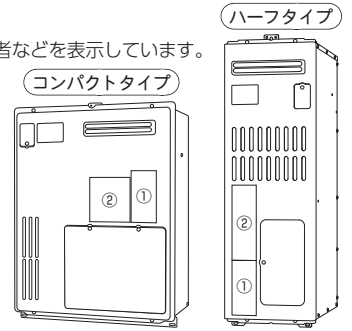
① 銘板

型番・型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者などを表示しています。



② 使用上の注意

使用上の注意について表示しています。



(図は235-T720型を示します) (図は235-T730型を示します)

① 必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記しています。この内容は必ずお読みください。

危険

屋内に設置しない(この機器は屋外用です)

●排気ガスが室内に充満したり正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因になります。

屋内 禁止

ガス漏れに気づいたときは

①すぐに使用をやめて、給湯栓をすべて閉める。

②ガス栓を開める。また、メーターのガス栓も閉める。

③お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。

すべての処置が終わるまでの間、絶対に

- ・火をつけない
- ・電気器具のスイッチの入・切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺で電話を使用しない

必ず行う

炎や火花で引火し、火災のおそれがあります。

火気禁止

1

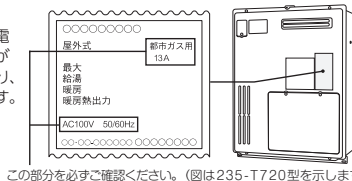
必ずお守りください
安全に正しくお使いいただくために

必ずお守りください

警告

機器の銘板を確認

- 機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)で機器を使用する。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。
- 転居時の注意は(→P.57)



この部分を必ずご確認ください。(図は235-T720型を示します)



必ず行う

機器設置および付帯工事

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。



必ず行う

増改築などで屋内状態にしない

- 設置後、機器や排気口を波板やビニール・塗装時に使用した養生シートなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止

ガス接続について

- この機器のガス管の接続はねじ接続です。ガス配管接続工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取り外しおよび付帯工事の際には必ずお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへご相談ください。



必ず行う

改造・分解禁止

- 絶対にお客さまご自身で、改造・分解・修理は行わない。改造・分解は、思わぬ事故や故障・火災の原因となります。



分解禁止

このような場合は使用しない

- 増改築や家屋の修繕時(特に外壁の塗装)には、シートで排気口を覆うことがあります。このような場合は機器を使用しない。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止

ソーラー機器接続禁止

- ソーラー機器(太陽熱温水器)とは絶対に接続しない。ソーラーの水温が高くなるとお湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯がそのまま出ます。やけどをしたり機器の故障原因になります。



禁止

電源コードの加工禁止

- 電源コードを切断したり加工をしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災の原因になります。



禁止

許容電力以上の使用禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えるると、発熱による火災の原因となります。



禁止

電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く

- ほこりがたまるとうちやみで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



必ず行う

電源プラグを抜くときの注意

- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や火災の原因になります。



必ず行う

電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。



必ず行う

アース必要

- この機器は接地工事(アース)が必要なので、アースがされているか確認する。アースがされていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



アース必ず接続する

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- ぬれた手で電源プラグを触らない。感電のおそれがあります。



感電注意

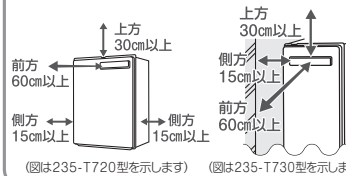
ぬれ手禁止

必ずお守りください

警告

火災予防のために必ず守ること

機器周辺のものとは常に図の距離を確保する。



(図は235-T720型を示します) (図は235-T730型を示します)



必ず行う

- 機器および排気口の周辺には紙や木材・洗濯物など、燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 機器の周辺では灯油・ガソリン・ベンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因となります。
- 機器の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。



禁止



禁止



禁止

給湯・シャワー使用時、入浴時の注意

- シャワーなどお湯を使う場合は、リモコンの表示温度をよく確かめ、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。次のようなときは注意してください。
 - ・お湯を再使用するとき
 - ・給水温度が高いとき
 - ・給水圧が下がったとき
 - ・お湯の量を急に少なくしたとき
 - ・機器が故障したとき



必ず行う

- 入浴するときは、手でお湯の温度を確認する。
- シャワー・給湯使用中に、使用者以外がリモコンの温度を変更したり、運転ボタンを「切」にしたり、「優先」を切り替えたりしない。
- 給湯使用時は出湯管(蛇口)に触らない。
- お風呂沸かし(沸かし直し)や追いだき時には、ふるアダプター付近は熱くなることがあるので触らない。
- 浴槽のふたの上に乗ったり手をついたりしない。怠ると思わぬ事故や、やけどのおそれがあります。



禁止



高温注意

異常時の処置について

- 地震・火災などの緊急時の場合は、以下の手順に従う。
 - ①給湯栓を閉める。
 - ②リモコンの運転ボタンを「切」にする。
 - ③ガス栓・給水元栓を閉める。



必ず行う

- 給湯栓を開けても点火しない場合や使用中で火が消える場合、または使用中に異常な燃焼や臭気、異常音・異常な温度を感じた場合。
 - ①ただちに使用を中止してガス栓を閉める。
 - ②お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへ連絡する。



必ず行う

機器本体やガスの接続部などに乗らない

- けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



禁止

注意

用途についての注意

- 一般家庭での台所・シャワー・洗面などへの給湯、お風呂沸かし、暖房(乾燥)以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。



禁止

機器本体でのやけどに注意

- 使用中または使用後しばらくは、排気口付近を触らない。やけどのおそれがあります。



接触禁止

配管カバー(または据置台)についての注意

- 配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず外したカバーを取り付け、化粧ねじを確実に締め付ける。(→P.53)



必ず行う

リモコンの扱いについて

- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけない。台所・増設リモコンは防水タイプではありませんので水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てない。故障の原因になります。



禁止

空だき防止

- リモコンの追いだきボタンを押すときは、必ず湯(水)が浴槽のふるアダプター上部より5cm以上入っていることを確かめる。水位がふるアダプターより低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因となる場合があります。



必ず行う

必ずお守りください

注意

お子さまには十分な注意を

- 浴槽の湯(水)に落ちたり浴室で遊ばせない。
- 子供を機器の周囲や直下で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。
- ※特に小さなお子さまのいるご家庭では注意してください。



排気口(給排気筒トップ)についての注意

- 排気口に指や棒を入れない。故障やけがの原因になります。



乾電池に関する注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼する。もし、お客さまで旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は乾電池を取り外してから正規の処理を行う。



オーバーフロー配管から排出される水について

- オーバーフロー配管から排出される水を飲料用・飼育用などに使用しない。



お願い

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使いかたをされると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理費は保証期間内でも有料となります。浴槽についても、一般家庭用サイズをお使いください。

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼ランプと燃焼表示で確認してください。

雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたら速やかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉めてください。
- 通電復帰後は、リモコンの現在時刻設定を行い、給湯温度などの表示を確認してからお使いください。
- ふる自動運転のお湯張り中に停電になると、ふるアダプターから湯が止まります。通電復帰後、おふろの沸かし直しを行ってください。(→P.21・25)
- 追いだし中(ふる自動運転の追いだし中も含む)に停電になると、ふるアダプターから水が流れたままになりますので、給水元栓を閉めてください。

断水のとさ

- 給湯栓を閉め、リモコンの運転ボタンを「切」にしてください。
- 断水から復帰後、使い始めのお湯は飲用や調理用に適さない水が、給水配管内にとどまることがあります。

日常の点検・お手入れ

- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯アカ)により青く着色することがあります。日々、浴室や洗面台のお手入れをするとともに、方着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)などでふき取ってください。
- オーバーフロー配管の先からスムーズに排出されるか点検してください。ゴミなどでふさがれている場合は掃除を行ってください。

積雪時の閉塞^{へいそく}について

- 積雪時は給気口・排気口の点検、除雪を行い、積雪や屋根から落ちた雪により給気口・排気口がふさがれないように注意してください。故障の原因となります。

必ずお守りください

お願い

入浴時の注意

- ふるアダプターに、お子さまがオモチャなどを入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。
- 浴槽のふるアダプターをタオルなどでふさがないでください。おふろ沸かしができなくなったり、機器の故障の原因になります。

入浴剤についての注意

- 硫黄・酸を含んだ入浴剤は、ふるアダプターや配管などが腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分などを確かめ、機器への悪影響がないものをお使いください。

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器専用の付属品・別売品以外は使用しないでください。
- 市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。

リモコンの扱いについて

- リモコンはお子さまがいたずらしないよう注意してください。

電源プラグを抜かない

- お手入れや水抜き(凍結予防・長期不在時)を行うとき、または突発的な自然災害(雷など)以外は、電源プラグを抜かないでください。

飲用や調理用にお使いのときは

- 機器内に長時間たまった水(たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで)は、飲用や調理用には使用しないで雑用水としてお使いください。

通水使用の禁止

- リモコンの運転ボタンを「切」にした状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により、機器の寿命を短くする原因になる場合があります。(冬期の凍結予防の場合を除く)

地下水や温泉水、井戸水では使用しない

- この機器は上水道用です。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着したり、配管に穴が開くなど耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

設置する場所や状況について

お願い

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(燃焼音・燃焼ファン回転音)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事担当者にご相談ください)
- 足場などを組んだり、ハシゴ・脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 扉などを増設する場合は、機器の点検・修理のためと燃焼不良の発生を防止するために空間を確保し、空気の流れが停滞しないようにしてください。

排気ガス

- 増改築によって、排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに、当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの(危険物・植物・ペットなど)を置かないでください。

給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

ほこり

- 砂・油煙・ペットの毛など、ほこりのたやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口をふさいだり、燃焼ファンの性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。

塩害

- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

塩ビ管の使用について

- 給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因となります。(ただし、オーバーフロー配管は除きます)

必ずお守りください

床暖房についての注意

警告

やけどに注意

- 床暖房の上で長時間、座ったり寝そべったりしない。低温やけどを起こすおそれがあります。特に次のような方が使用する場合は、周りの人が注意してあげることが必要です。
 - ・乳幼児・お年寄り・病人など自分の意思で体を動かさない方
 - ・疲労の激しいときやお酒・睡眠薬を飲まれた方
 - ・皮膚や皮膚感覚の弱い方



火災予防

- 床暖房の上にスプレー缶・カセットコンロ用ボンベ・ライターなどを置かない。熱でスプレー缶などの圧力が上がり、スプレー缶などが爆発するおそれがあります。

注意

床についての注意

床に水などをこぼさない

- 床面に水・薬品・しょうゆ・ペットの排泄物などがこぼれたら、速やかにふき取ってください。常時水の飛び散る台所や洗面所周辺は、ぬれたまま長時間放置しないでください。床仕上げ材・床暖房パネルの変色、はがれ、劣化など、品質を損なう原因になります。



床暖房の上に、鋭利なもの(釘・画びょう・きり・タニシ防虫剤の注射針・はさみなど)を落としたり刺したりしない

- 水漏れの原因になります。



床暖房の上に、調度品・家具などを直接置かない

- 家具などに熱がこもって、ひずみなどが生じる原因になります。床面と家具などの間に空間を設けるようにし、熱がこもらないようにしてください。



重いものはそのまま置かない

- ピアノなど重量物にはパッドなどを敷いて一箇所に荷重がかからないよう設置してください。床が破損し、水漏れの原因になります。



キャスター付きの椅子や家具、車椅子を使用しない

- フローリング表面の傷やへこみ、はがれ、床鳴りなどの原因になります。



重量物を移動させるときは引きずらない

- 床仕上げ材表面の傷やへこみ、はがれの原因となります。椅子の脚など床に接触する部分には、フェルトなどをつけてください。



床暖房の上にエアコンやテレビなどのリモコンを長時間置かない

- リモコンの故障の原因となります。



床暖房は電気カーペットやこたつなどの併用はしない

- 性能が発揮できなかつたり、熱がこもって床仕上げ材の割れ・そり・すき間・変形・変色などの原因になります。



床暖房を他の目的に使用しない

- 特殊な用途(例えば衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存など)には使わないでください。



床仕上げ材のお手入れは、床仕上げ材メーカーの取り扱い方法に従う

- 床仕上げ材の張替えは、床仕上げ材メーカーの指定工法で施工する



床下の防腐・防蟻処理時、床暖房や配管などに処理剤が付着しないよう注意する

- 床暖房が破損し、水漏れの原因になります。



閉め切ったお部屋で長時間使用しない

- 床暖房設置後しばらくの間や、閉め切ったお部屋で長時間使用するとごくまれに体調が悪くなる場合があります。窓を開けるなどして定期的に換気をしてください。それでも改善されない場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

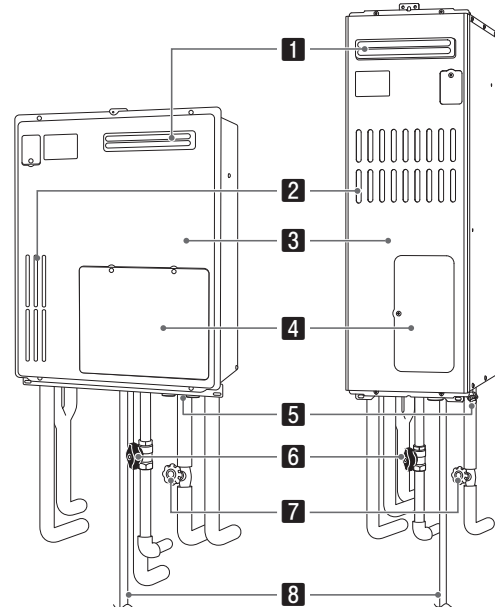


各部の名称とはたらき

機器本体

コンパクトタイプ

ハーフタイプ

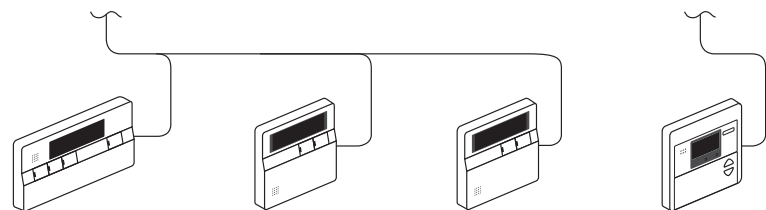


(図は235-T720型を示します)

(図は235-T730型を示します)

- 1 排気口 排気が出ます
- 2 給気口
- 3 フロントカバー
- 4 点検扉
- 5 水抜き栓
給水口フィルター (→P.53)
- 6 ガス栓
- 7 給水元栓
- 8 オーバーフロー配管

リモコン



浴室リモコン 別売品

台所リモコン 別売品

増設リモコン 別売品

台所リモコン 別売品

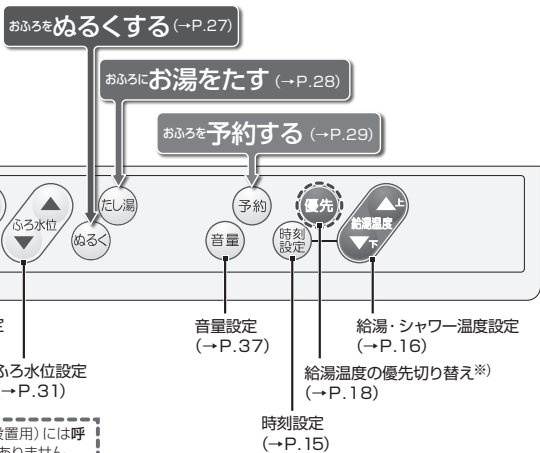
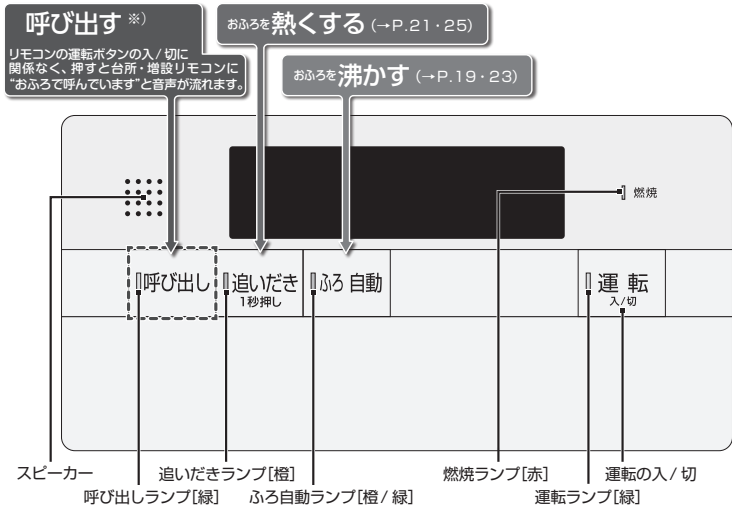
※ハーフタイプのエックス MARK IIからの取り替えて、本製品をご利用のお客様のみ。

各部の名称とはたらき

浴室リモコン

138-T380型/T381型/T382型(リモコンセット) / 238-T317型(浴室単体設置用)

浴室に設置して使用します。給湯温度の設定や優先の切り替え、おふろ機能に関する操作を行うことができます。操作をするとき以外はふたを閉めてお使いください。238-T317型は浴室単体設置用のみでご利用となります。



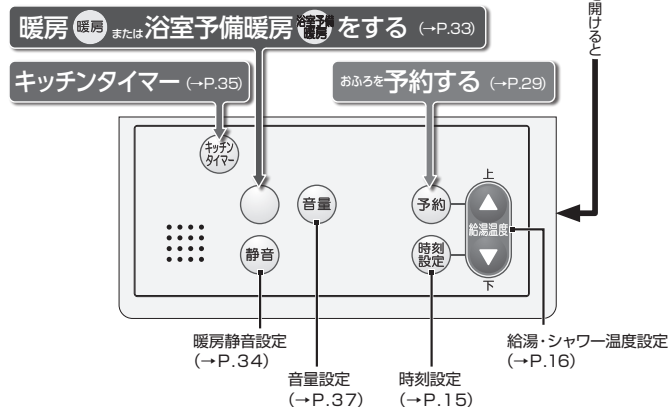
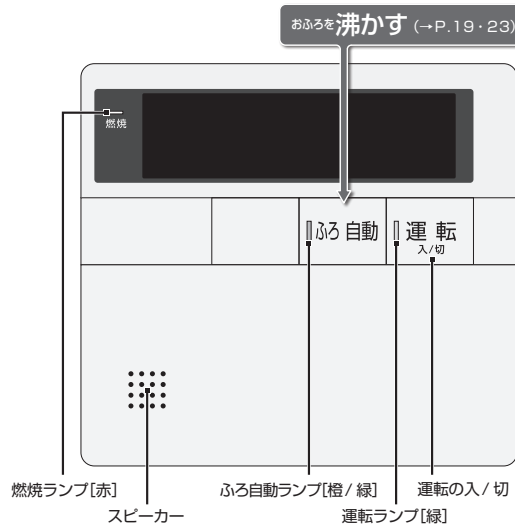
※)238-T317型(浴室単体設置用)には呼び出しボタンと優先ボタンがありません。

各部の名称とはたらき

台所リモコン

138-T380型/138-T381型(暖房ボタン付)/138-T382型(浴室予備暖房ボタン付)

台所に設置して使用します。給湯温度の設定やおふろ自動・予約運転・暖房静音・暖房運転・浴室予備暖房運転・キッチンタイマーなどの操作を行うことができます。操作をするとき以外はふたを閉めてお使いください。

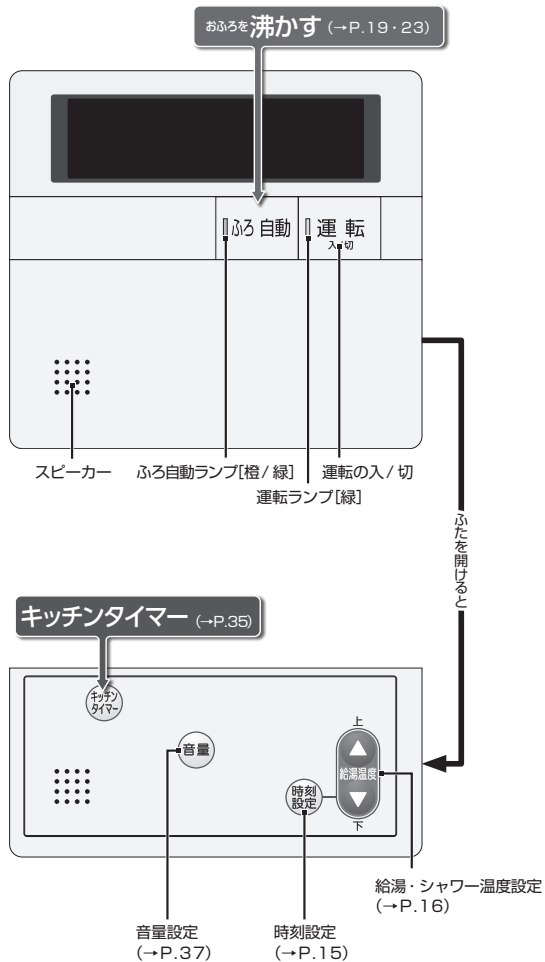


各部の名称とはたらき

増設リモコン

138-T363型

浴室や台所以外の部屋に設置して使用します。給湯温度の設定やふろ自動運転・キッチンタイマーなどの操作を行うことができますが予約運転の操作はできません。操作をするとき以外はふたを閉めてお使いください。



各部の名称とはたらき

表示画面

図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

【浴室リモコン】



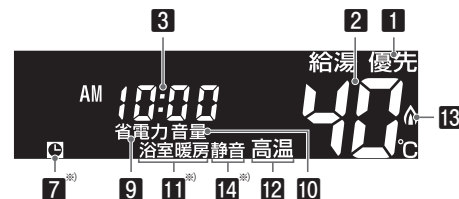
トップ画面
運転ボタンを「入」にすると表示する画面です。
ふろ温度・現在時刻・給湯温度などを表示します。



【台所リモコン / 増設リモコン】



トップ画面
運転ボタンを「入」にすると表示する画面です。
現在時刻・給湯温度などを表示します。



1 優先表示

優先が表示されているリモコンで、給湯温度の変更ができます。
238-T317型(浴室単体設置用)には表示しません。

2 給湯温度表示

給湯・シャワーの設定温度を表示します。

3 現在時刻表示

現在時刻を表示します。

アラーム表示

不具合時のアラームを表示します。

4 ふろ水位表示

ふろ水位を表示します。

5 保温表示

保温時間の設定時や保温中に表示します。

6 ふろ温度表示

お風呂のお湯の設定温度を表示します。

7 ふろ予約表示^(※)

ふろ予約中に表示します。

8 ふろ動作表示

追いだし・ふろ自動・たし湯・ぬるく運転時に表示します。

9 省電力表示

省電力に設定されていると表示します。

10 音量表示

音量の変更中に表示します。

11 浴室予備暖房表示(浴室暖房)^(※)

浴室予備暖房運転中に表示します。

暖房表示(暖房)^(※)

暖房運転中、台所リモコンに表示します。

12 高温表示

給湯温度が50°C以上のとき表示します。
差し湯運転中、浴室リモコンに表示します。

13 燃烧表示

機器の燃烧中に表示します。

14 静音表示^(※)

暖房静音に設定されていると表示します。

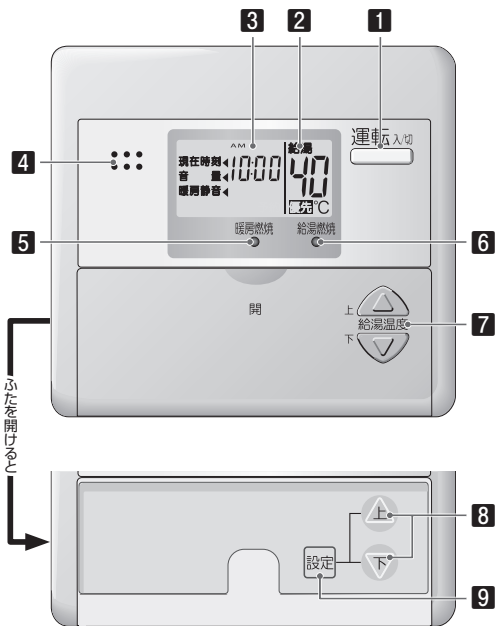
※)増設リモコンには表示しません。

各部の名称とはたらき

□台所リモコン

138-T314型 ※ハーフタイプのエックスMARK IIからの取り替えて、本製品をご利用のお客さまのみ。

台所に設置して使用します。現在時刻・給湯温度の設定や暖房静音などの操作を行うことができます。操作をするとき以外はふたを閉めてお使いください。



1 運転ボタン

リモコンの入/切をします。

2 給湯温度表示

給湯・シャワーの設定温度を表示します。

3 現在時刻表示

現在時刻を表示します。

アラーム表示

不具合時のアラームを表示します。

4 スピーカ

音声ガイドなど、音が出ます。

5 暖房燃焼ランプ[赤]

暖房燃焼中に点灯します。

6 給湯燃焼ランプ[赤]

給湯燃焼中に点灯します。

7 給湯温度ボタン (→P.42)

給湯温度の調節をするときに押します。

8 上・下ボタン

現在時刻・音量・暖房静音の調節をするときに押します。
そのまま押すと、給湯温度の調節ができます。

9 設定ボタン

現在時刻・音量・暖房静音の設定を切り替えるときに押します。

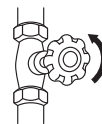
ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず機器の準備をします。

■機器の準備

- 1 機器や機器周辺の点検・確認を行う
□点検のポイント(→P.52)をご覧ください。

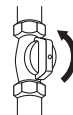
- 2 給水元栓を全開にする
機器の下部にあります。



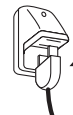
- 3 給湯栓を開ける
水が出ることを確認したら閉めます。



- 4 ガス栓を全開にする
機器の下部にあります。



- 5 電源プラグをコンセントに差し込む
コンセントは機器周辺にあります。



- 6 運転 [入/切] を「入」にする



現在時刻をセットしてください

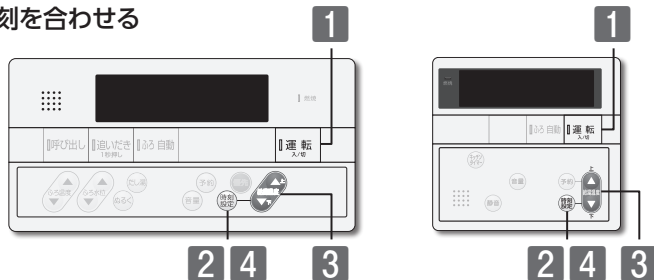
★メモ

●電源投入直後は、リモコンの画面上に [] が表示されます。表示が消えるまで、約40秒かかります。その間はリモコンの操作はできません。消えるまで待ってから運転ボタンを「入」にしてください。

ご利用前の準備

リモコン図は138-T380型で説明します。いずれかひとつのリモコンで操作します。

■現在時刻を合わせる



! 現在時刻の設定がされていない場合には、予約運転(→P.29)を利用できません。予約ボタンを押すと、「ピッピッピ」と受け付け禁止音が鳴ります。必ず現在時刻を設定してください。

1 「**運転**」を「入」にする
 現在時刻をセットしてください

2 ふたを開け **時刻設定** を押す
 現在時刻です 上下ボタンで入力してください

3 **時刻合わせ** で時刻を合わせる
 設定時にはAM(午前)/PM(午後)に注意してください。
 時刻合わせは、時刻表示が点滅している間に設定してください。
 ▲は時刻が進みます。
 ▼は時刻が戻ります。

※給湯温度ボタンは1回押すと1分単位、押し続けると10分→30分→1時間単位で進み(戻り)ます。

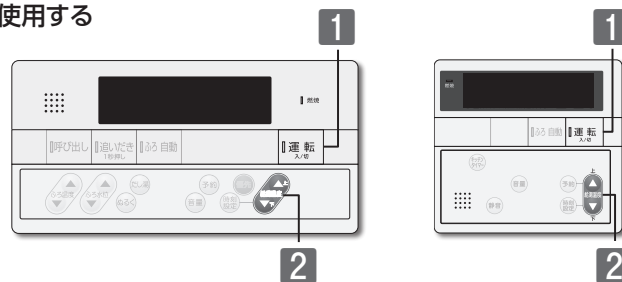
4 **時刻設定** を押す
 セットされました
 ※時刻設定ボタンを押さなくても、約10秒経過すると現在時刻の設定を完了します。

★メモ

- 電源投入直後や停電からの通電復帰後は、リモコンの画面上にが表示されます。表示が消えるまで、約40秒かかります。その間はリモコンの操作はできません。消えるまで待つから**運転**ボタンを「入」にしてください。
- 出荷時の時刻表示は「--:--」になっています。停電などで通電が止まった場合も出荷時の表示に戻りますので、通電復帰後時刻の再設定をしてください。
- 時刻の設定がされていない場合には、**運転**ボタンを「入」にするたびに「**現在時刻をセットしてください**」と、音声ガイドが流れます。また、給湯温度を50℃以上に設定していた場合には「**給湯温度℃です 熱い温度にセットされました 注意してください**」と、音声ガイドが流れます。
- 現在時刻の設定時に、上下ボタンを押さなかった場合「**現在時刻です 上下ボタンで入力してください**」と音声ガイドが流れてから、約10秒経過すると設定を完了します。このとき、音声ガイドは流れません。
- 時刻の設定終了後は、**運転**ボタンを「入」にするたび、給湯温度を音声ガイドがお知らせします。

お湯を使うには

■お湯を使用する



! **警告**
 ●給湯・シャワーなどを使うときは、リモコンに表示の給湯温度を確認し、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使う。確認を怠るとやけどの可能性があります。
 ●給湯・シャワー使用中は使用者以外、温度の変更や優先の切り替え、**運転**ボタンを「切」にしない。突然、熱湯が出てやけどをしたり、冷水が出て思わぬ事故につながる可能性があります。特にシャワー使用時は、必ず浴室リモコンを優先(→P.18)にして、リモコンに表示の給湯温度を確認してから使用してください。

1 「**運転**」を「入」にする
 給湯温度40℃です

2 ふたを開け **給湯温度** で変更する
 給湯温度42℃にセットされました
 ▲は温度が上がります。 ※給湯温度ボタンは1回ずつ押してください。押し続けても温度は変わりません。
 ▼は温度が下がります。 ※給湯温度が変更できない場合は、**給湯温度が変更できないときは**(→P.17)をご覧ください。

お湯を出す

給湯栓を開ける
 開ける お湯出し
 給湯温度42℃
 お湯を出している間は浴室リモコン・台所リモコンの燃焼ランプ[赤]が点灯し、を表示します。

お湯を止める

給湯栓を閉める
 閉める
 給湯温度42℃
 お湯を止めると、浴室リモコン・台所リモコンの燃焼ランプ[赤]が消灯し、が消えます。

□給湯温度の目安

給湯温度の目安(単位:℃) 40:工場出荷時

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|----|----|----|-----------|----|----|----|------|----|----|----|----|----|----|----|
| 32 | 35 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 48 | 50 | 55 | 60 |
| 食器洗いなど | | | | シャワー・給湯など | | | | 給湯など | | | | 高温 | | | |

※50℃以上に設定した場合には、リモコン画面に **高温** を表示し、警告音声の流れます。
 給湯温度、50℃です 熱い温度にセットされました 注意してください

お湯を使うには

お知らせ

- リモコンに表示の給湯温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温などにより必ずしも一致しません。リモコンに表示の給湯温度は目安としてお考えください。
- 夏場など水温が高い場合、給湯温度の目安を“食器洗いなど”に設定してもリモコンに表示の給湯温度より高い湯温になる場合があります。必要に応じて水を混ぜ、湯温を確認してからお使いください。
- お湯を1時間以上連続使用すると、給湯栓開閉忘れ確認のためアラーム番号“011”を表示し、燃焼が止まり水になります。その場合は給湯栓を閉め、運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にしてからお使いください。
- ふる待機しない(→P.39)に設定の場合(工場出荷時のふる待機設定は、ふる待機しないに設定されています)
 - ふる自動運転のお湯張り中・たし湯運転中は、リモコンの給湯温度ボタンを押すと“ビップビップ”と受け付け禁止音が鳴り、給湯温度の設定はできません。
 - ふる自動運転のお湯張り中・たし湯運転中に給湯・シャワーを使用すると、設定したふる温度で出湯されます。このときリモコンの給湯温度の表示は変わりません。設定したふる温度が高いときに、給湯・シャワーを使用される場合はご注意ください。また、ふる自動運転のお湯張りやたし湯運転が先に終了しても出湯中のお湯の温度は設定したふる温度のままで、リモコンに表示の給湯温度には戻りません。リモコンに表示の給湯温度に戻すには給湯・シャワーを一度止めてから再度出湯してください。
 - ふる自動運転やたし湯運転を一時中断(待機)させて、リモコンに表示の給湯温度で出湯する設定(ふる待機する)もできます。(→P.39)

お願い

- 55℃以下の温度で給湯・シャワーを使用しているときは、やけど防止のため60℃には設定変更ができません。変更をしたいときは、一度給湯を止めてから設定してください。
- 給湯温度は運転ボタンを「切」にしても記憶されていますが、給湯温度を60℃に設定したときは、やけどなどの危険防止のため、再度運転ボタンを「入」にしたとき自動的に55℃に設定されます。
- やけど対策上、サーモスタット式混合水栓の使用をおすすめします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

※メモ

- 給湯使用中でも「優先」の表示があるリモコンでは温度の変更ができます。
- 省電力待機中(→P.38)に給湯温度ボタンを押すと、トップ画面を表示するとともに現在の給湯温度を音声ガイドでお知らせします。
- サーモスタット式混合水栓やシングルレバー混合水栓をお使いの場合、混合水栓の機種や構造により、温度調節ハンドルの示す温度よりぬるいお湯が出ることがあります。このような場合は、リモコンの設定温度をご希望の温度より5~10℃高めにしてください。

□給湯温度が変更できないときは

給湯温度を変更するには、操作するリモコンの画面に「優先」の表示が必要です。

※238-T317型(浴室単体設置用)には「優先」を表示しません。

給湯温度ボタンを操作しても給湯温度の変更ができない場合は、リモコンに「優先」を表示しているか確認してください。

「優先」がない場合は□浴室リモコンに優先がないとき(→P.18)または□台所(増設)リモコンに優先がないとき(→P.18)をご覧ください。

優先とは

給湯温度の変更ができることを「優先」と呼び、給湯温度が変更できるリモコンには、「優先」を表示しています。

台所・浴室・洗面所など、機器からお湯を供給されている給湯栓からは、常に同じ温度のお湯が出ます。そのため、お湯を使用中に使用者以外が給湯温度を変更すると、出ているお湯の温度が変わり、使用者がやけどをしたり、思わぬ事故の原因になります。このような事故などを防ぐために、「優先」の表示があるリモコンのみが給湯温度を変えられるようになっていきます。「優先」は、運転ボタンを「入」にしたリモコンに表示します。

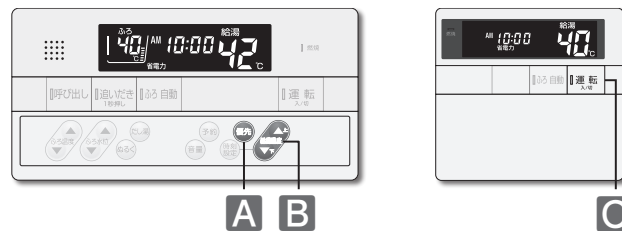
※メモ

- 台所・増設リモコンで「優先」がないときに給湯温度ボタンを押すと“給湯温度、浴室優先です 運転ボタンを入れ直してください”と、音声ガイドが流れます。

お湯を使うには

■優先を切り替える

※238-T317型(浴室単体設置用)には優先ボタンがありません。



□浴室リモコンに優先がないとき

AまたはBの方法で行う。

【浴室リモコンで行う】

A ふたを開け **優先** を押す



給湯温度、浴室優先です

浴室リモコンで記憶していた給湯温度を表示し、「優先」を表示します。

【浴室リモコンで行う】

B ふたを開け **給湯** を押す



給湯温度、浴室優先です

浴室リモコンで記憶していた給湯温度を表示し、「優先」を表示します。

□台所(増設)リモコンに優先がないとき

CまたはAの方法で行う。

【台所(増設)リモコンで行う】

C **運転** を「切」にする



1 ほかでお湯が使われていないことを確認のうえ、行ってください。

給湯温度、42℃です

台所(増設)リモコンで記憶していた給湯温度を表示し、「優先」を表示します。

再度 **運転** を「入」にする

【浴室リモコンで行う】

A ふたを開け **優先** を押す



給湯温度、台所優先です

台所(増設)リモコンで記憶していた給湯温度を表示し、「優先」が消えます。

※メモ

- 優先を切り替えたとき、切り替え前の給湯温度が60℃だった場合、自動的に55℃に設定し直されます。
- 優先切り替え後の給湯温度が、50℃以上の場合には“給湯温度、〇℃です 熱い温度にセットされました 注意してください”とお知らせします。
- 別売の増設リモコンを設置している場合、台所リモコンと増設リモコンは連動しています。台所リモコンの運転ボタンを「入」にすると、台所リモコンと増設リモコンに「優先」が表示され、増設リモコンでも給湯温度を設定できます。給湯温度は設定したリモコン側の温度になります。

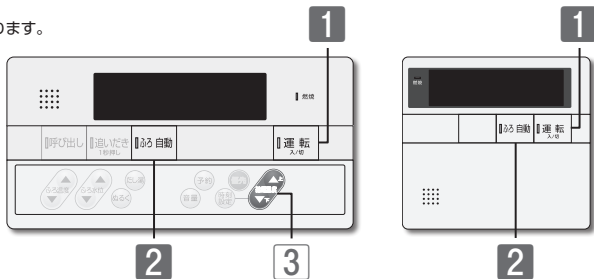
おふろを沸かす《ふろ自動運転》ドラックスタイプ ふろアダプター使用時

□おふろを沸かす

浴槽のふろアダプターは2種類あります。



ドラックスタイプ
スタンダードタイプ使用時の
操作方法(→P.23)



警告

- 入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯かげんを手で確かめる。確認を怠るとやけどのおそれがあります。
- おふろの沸かし上げ中や保温中は、突然ふろアダプターより熱いお湯が出たり、ふろアダプターの周囲が熱くなっていることがあるので注意する。

まずは準備

- ◎保温時間は合っていますか？
- ◎ふろ温度・ふろ水位は合っていますか？
- ◎浴槽に残り湯(水)はありませんか？
- ◎浴槽の排水栓とふたをする

※おふろが沸き上がると保温します。
保温時間を変更をする(→P.20)
ふろ温度・ふろ水位を変更する(→P.31)

1 運転 を「入」にする



給湯温度、40°Cです

2 ふろ自動 を押す



お湯張りを始めます
おふろの栓はしましたか？

ふろ自動ランプ[橙]・燃焼ランプ[赤]
が点灯、 を表示します。

設定した水位に近くなると
もうすぐおふろに入れます

設定されたふろ温度に達しない場合は、
追いだし(高温水の差し湯)を行います。



おふろを沸かします 熱い
温度に注意してください

高温が点滅します。

おふろが沸き上がると
保温に入ります



おふろが沸き上がると

おふろが沸きました

ふろ自動ランプ[橙]が[緑]に変わり、
保温 を表示し、燃焼ランプ[赤]・
高温 が消えます。

ふろ自動中止 ふろ自動 を押す

ふろ自動ランプが消えて、おふろ沸
かしや保温を終了します。

おふろを沸かす《ふろ自動運転》ドラックスタイプ ふろアダプター使用時

保温時間は、ふろ自動運転の開始時に変更することができます。

□保温時間の変更をする場合

1 運転 を「入」にする



給湯温度、40°Cです

2 浴室リモコンの ふろ自動 を
2秒以上長押しする



保温時間4時間です 変更
する場合は上下ボタンで入
力してください

3 ふたを開け 運転 で
保温時間を変更する



保温時間5時間です

変更後、約10秒経過すると保温時
間の設定を完了します。

セットされました

お湯張りを始めます
おふろの栓はしましたか？

ふろ自動ランプ[橙]・燃焼ランプ[赤]
が点灯、 を表示します。

※高温水を差し湯して保温しますので、
保温時間を長く設定すると浴槽から
お湯があふれる場合があります。

保温時間の目安(単位:時間)

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

4:工場出荷時

お知らせ

- 浴槽に残り湯(水)がある場合は、ふろ自動運転を行わない。あふれや、設定したふろ温度にならないことがあります。
- ふろ自動運転のお湯張り中に、停電になるとふろ自動運転が停止し、ふろアダプターからの湯が止まります。おふろを熱くする・沸かし直す(→P.21)をご覧ください、再度おふろを沸かし直してください。
- ふろ自動運転中や保温時に、保温時間を変更することはできません。
- おふろのお湯(水)を抜くときは、ふろ自動ボタンを押してふろ自動運転を終了し、ふろ自動ランプが消灯していることを確認してください。高温のお湯がふろアダプターから出ることがあります。

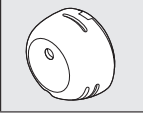
※※※

- ふろ水位を50ℓに設定した場合は、保温を行いません。
- 台所(増設)リモコンのふろ自動運転開始の音声は「ふろ温度°Cです」(設定したふろ温度)に続いて「お湯張りを始めますおふろの栓はしましたか」と流れます。
- ふろ自動運転のお湯張り中に、ふろアダプターからお湯が出たり止まったりすると共にリモコンの燃焼ランプと燃焼表示がついたり消えたりすることがありますが、異常ではありません。
- ふろ待機する(→P.39)に設定の場合、ふろ自動運転のお湯張り中に給湯・シャワーを使用するとお湯張りが一時中断(待機)します。(工場出荷時のふろ待機設定は、ふろ待機しないに設定されています。)
- ふろ待機しない(→P.39)に設定の場合、給湯温度を50°C以上に設定している場合には、浴室リモコンの沸かし上げの音声ガイドが、「おふろが沸きました」から「給湯温度°Cです 熱い温度にセットされました 注意してください」に変わります。(工場出荷時のふろ待機設定は、ふろ待機しないに設定されています。)
- 保温時間の設定時に、上下ボタンを押さなかった場合「保温時間〇時間です 変更する場合は上下ボタンで入力してください」と音声ガイドが流れてから約10秒経過すると、設定を完了します。
- ふろ自動の沸かし上げ中に給湯・シャワーを使用すると、沸かし上げが一時的に中断します。その際、浴室リモコンの高温が消えます。給湯・シャワーの使用後は、沸かし上げを再開します。
- 保温中は湯温の低下をみて、自動で追いだし(高温水の差し湯)を行います。
- 保温中にふろ温度を高めに変更しても、すぐに沸かし上げがない場合があります。変更した後にふろ温度を保つための沸かし上げを行うときに、設定された温度まで沸かし上げます。

□追いだきをする

浴槽のふうろアダプターは2種類あります。

デラックスタイプ



スタンダードタイプ使用時の操作方法(→P.25)



1

警告

- 入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯かげんを手で確かめる。確認を怠るとやけどのおそれがあります。
- 高温水が出るため、入浴中はふうろアダプターに近づかない。やけどのおそれがあります。

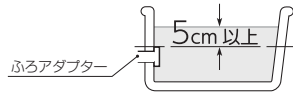
注意

- 追いだき運転をする前に、浴槽の湯(水)がふうろアダプター上部より5cm以上あることを確認する。
- 追いだき運転を何度も繰り返さない。追いだき運転を繰り返すと、最高約50℃まで追いだきします。やけどにご注意ください。
- 高温水を差し湯して沸かし上げますので、浴槽からお湯があふれる場合があります。

※リモコンの運転が「切」になっているときは、運転ボタンを押して「入」にします。

まずは確認

○ふうろアダプターの上部より5cm以上お湯(水)が入っていますか？



1 追いだき を1秒以上押す

設定したふうろ温度まで高温水を差し湯して沸かし上げます。



追いだきランプ[橙]が点灯します。



お風呂を沸かします 熱い温度に注意してください

燃焼ランプ[赤]が点灯し、高温が点滅、■・■を表示します。



追いだきが終了すると

お風呂が沸きました

燃焼ランプ[赤]・追いだきランプ[橙]・高温・■・■が消えます。

【以下の条件で沸き上げて自動的に停止します】

浴室リモコンで操作 浴槽の湯の温度+2℃まで差し湯します。(追いだき時の最高温度:約50℃)
浴槽の湯の温度が設定したふうろ温度より2℃以下低い場合は、設定したふうろ温度まで沸かします。

温度の確認 追いだき運転終了後に湯かげんを手で確かめる

もっと熱く 追いだき運転終了後に 追いだき を1秒以上押す

追いだき中止 追いだき を押す



燃焼ランプ[赤]・追いだきランプ[橙]・■・■が消え、追いだきを中止します。

お知らせ

- 湯(水)が浴槽のふうろアダプター上部より5cm以上ないと、沸かし直しを始めない場合があります。足りない場合は、お湯(水)を足してください。
- 残り湯の水位が高い場合は、設定温度に達する前に、浴槽からお湯があふれる場合があります。
- 冬場など残り湯の水温が極端に低く、設定温度との差が大きい場合は、差し湯する量が多くなり浴槽からお湯があふれる場合があります。残り湯を排水し、ふうろ自動運転を行うことをおすすめします。(→P.19)
- 追いだき中に停電になると、ふうろアダプターから水が流れたままになりますので、給水元栓を開けてください。

★メモ

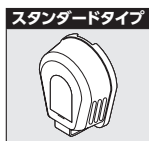
- 追いだき運転中に給湯・シャワーを使用すると、追いだき運転が一時的に中断します。その際、高温が消えます。給湯・シャワーの使用後は、追いだき運転を再開します。



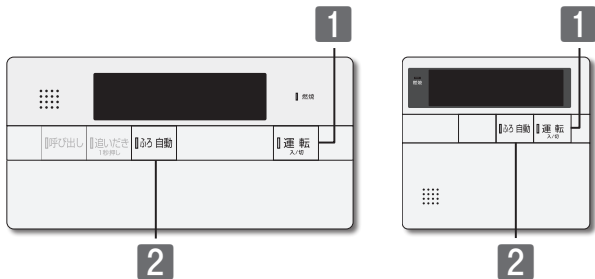
お風呂を沸かす《ふろ自動運転》

スタンダードタイプ
ふろアダプター使用時

□お風呂を沸かす



デラックスタイプ使用時の
操作方法(→P.19)



警告

- 入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯かげんを手で確かめる。確認を怠るとやけどのおそれがあります。
- お風呂の沸かし上げ中は、突然ふろアダプターより熱いお湯が出たり、ふろアダプターの周囲が熱くなっていることがあるので注意する。やけどのおそれがあります。

まずは準備

- ふろ温度・ふろ水位は合っていますか? ※変更をする場合は(→P.31)
- 浴槽に残り湯(水)はありませんか?
- 浴槽の排水栓とふたをする

1 『運転』を「入」にする



給湯温度、40℃です

2 『ふろ自動』を押す



お湯張りを始めます
お風呂の栓はしましたか

ふろ自動ランプ[橙]・燃焼ランプ[赤]
が点灯、 を表示します。

設定した水位に近くなると

もうすぐお風呂に入れます



設定した水位に達すると

お風呂が沸きました

ふろ自動ランプ[橙]・燃焼ランプ[赤]
 が消えます。



お風呂を沸かす《ふろ自動運転》

スタンダードタイプ
ふろアダプター使用時

ふろ自動中止

『ふろ自動』を押す



ふろ自動ランプ[橙]・燃焼ランプ[赤]
 が消えて、お風呂を沸かしを
終了します。

お知らせ

- 浴槽に残り湯(水)がある場合は、ふろ自動運転を行わない。あふれや、設定したふろ温度にならないことがあります。
- ふろ自動運転のお湯張り中に、停電になるとふろ自動運転が停止し、ふろアダプターからの湯が止まります。
お風呂を熱くする・沸かし直す(→P.25)をご覧ください。再度お風呂を沸かし直してください。

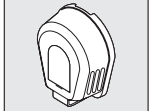
※メモ

- 台所(増設)リモコンのふろ自動運転開始の音声は“ふろ温度〇℃です”(設定したふろ温度)に続いて“お湯張りを始めます
お風呂の栓はしましたか”と流れます。
- ふろ自動運転のお湯張り中に、ふろアダプターからお湯が出たり止まったりすると共にリモコンの燃焼ランプと燃焼表示がついたり消えたりすることがありますが、異常ではありません。
- ふろ待機する(→P.39)に設定の場合、ふろ自動運転のお湯張り中に給湯・シャワーを使用するとお湯張りが一時中断(待機)します。(工場出荷時のふろ待機設定は、ふろ待機しないに設定されています。)
- ふろ待機しない(→P.39)に設定の場合、給湯温度を50℃以上に設定している場合には、浴室リモコンの沸き上がりの音声ガイドが、“お風呂が沸きました”から“給湯温度〇℃です 熱い温度にセットされました 注意してください”に変わります。(工場出荷時のふろ待機設定は、ふろ待機しないに設定されています。)

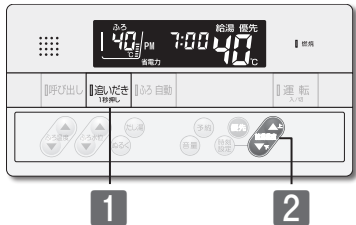
☐追いだきをする

浴槽のふるアダプターは2種類あります。

スタンダードタイプ



ドラックタイプ使用時の
操作方法(→P.21)



⚠警告

- 入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯かげんを手で確かめる。確認を怠るとやけどのおそれがあります。
- 高温水が出るため、入浴中はふるアダプターに近づかない。やけどのおそれがあります。

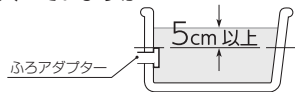
⚠注意

- 追いだき運転をする前に、浴槽のふるアダプター上部より5cm以上湯(水)があることを確認する。
- 設定湯量を差し湯して沸かし上げますので、適温で自動的に停止しません。沸かしすぎにご注意ください。
- 高温水を差し湯して沸かし上げますので、浴槽からお湯があふれる場合があります。

※リモコンの運転が「切」になっているときは、運転ボタンを押して「入」にします。

まずは確認

◎ふるアダプターの上部より5cm以上
お湯(水)が入っていますか？



1 追いだきを1秒以上押す



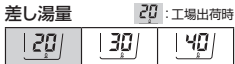
お風呂を沸かします 差し湯量を変更する場合は上下ボタンで入力してください
追いだきランプ[橙]が点灯します。

2 ふたを開けで
差し湯量を設定する



変更後、約10秒経過すると差し湯量の設定を完了します。

- ▲は差し湯量が上がります。
- ▼は差し湯量が下がります。



セットされました



お風呂を沸かします 熱い温度に注意してください
燃焼ランプ[赤]が点灯し、高温が点滅、■・■を表示します。



追いだきが終了すると
お風呂が沸きました
燃焼ランプ[赤]・追いだきランプ[橙]・高温 ■・■が消えます。

※設定湯量を差し湯して沸かし上げますので、設定したふる温度にはなりません。残り湯の温度や量によって、ぬるかったり、熱かったりします。
※適温になれば、追いだきボタンを押して「切」にする。

温度の確認 追いだき運転終了後に湯かげんを手で確かめる

もっと熱く 追いだき運転終了後に 追いだき 1秒以上押す

追いだき中止 追いだき 1秒押し を押す



燃焼ランプ[赤]・追いだきランプ[橙]・高温・■・■が消え、追いだきを中止します。

！お知らせ

- 追いだき中に停電になると、ふるアダプターから水が流れたままになりますので、給水元栓を閉めてください。
- 残り湯の水位が高い場合は、追いだき運転を繰返し行くと、適温になる前に浴槽からお湯があふれる場合があります。
- 冬場など残り湯の温度が極端に低い場合は、差し湯量を最大にしても、適温にならない場合があります。残り湯を排水し、ふる自動運転を行うことをおすすめします。(→P.23)

✖️

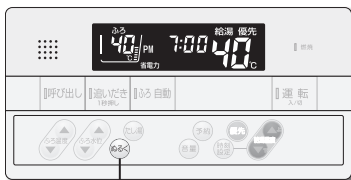
- 差し湯量の設定時に上下ボタンを押さなかった場合「お風呂を沸かします 差し湯量を変更する場合は上下ボタンで入力してください」と音声ガイドが流れてから、約10秒経過すると工場出荷時の20ℓで設定を完了します。このとき「セットされました」と音声ガイドは流れません。追いだき運転は、差し湯量設定完了後に開始します。
- 設定した差し湯量は記憶されません。次の追いだき時には工場出荷時の20ℓに戻ります。
- 追いだき運転中に給湯・シャワーを使用すると、追いだき運転が一時的に中断します。その際、高温が消えます。給湯・シャワーの使用後は、追いだき運転を再開します。

スタンダードタイプ
ふるアダプター
お風呂のお湯を熱くする・沸かし直す

スタンダードタイプ
ふるアダプター
お風呂のお湯を熱くする・沸かし直す

お風呂のお湯をぬるくする

□たし水をする



1

※リモコンの運転が「切」になっているときは、運転ボタンを押して「入」にします。

1 ふたを開け **ぬるく** を押す



水をたします

水を表示します。

※水を12ℓ入れ、自動で停止します。適温になれば、ぬるくボタンを押して「切」にする。



終了すると水が消えます。

もっとぬるく **ぬるく** 運転終了後 **ぬるく** を押す



水をたします

水を表示します。

ぬるく 中止 **ぬるく** を押す



水が消え、たし水を中止します。

お知らせ

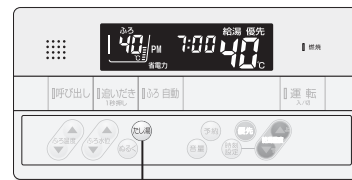
- ぬるく運転中に給湯・シャワーを使用すると、ぬるく運転は一時中断(待機)します。給湯・シャワーを終了するとぬるく運転を再開します。
- 給湯・シャワーの使用中は、ぬるくボタンを使用できません。押しと「ピッピッピッ」と受け付け禁止音が鳴ります。

★メモ

- ぬるく運転では自動的に水を約12ℓ入れます。途中で湯がげんを確かめてください。

お風呂のお湯をふやす

□たし湯をする



1

※リモコンの運転が「切」になっているときは、運転ボタンを押して「入」にします。

1 ふたを開け **たし湯** を押す



お湯をたします

燃烧ランプ[赤]が点灯し、水を表示します。

※ふる温度のお湯を約24ℓ入れ、自動で停止します。適量になれば、たし湯ボタンを押して「切」にする。



終了すると燃烧ランプ[赤]が消えます。

もっと増やす **たし湯** 運転終了後 **たし湯** を押す



お湯をたします

燃烧ランプ[赤]が点灯し、水を表示します。

たし湯 中止 **たし湯** を押す



燃烧ランプ[赤]が消え、たし湯を中止します。

！お知らせ

- たし湯運転中に給湯・シャワーを使用するとふる温度で出湯されます。このとき給湯温度の表示は変わりません。ふる温度が高いときに、給湯・シャワーを使う場合はご注意ください。たし湯を一時中断(待機)させて、給湯・シャワーを給湯温度で出湯する設定(ふる待機する)もできます。(→P.39)
- 夏場など水温が高い場合、ふる温度を低温に設定すると、お湯張り時に燃焼しない場合があります。

お願い

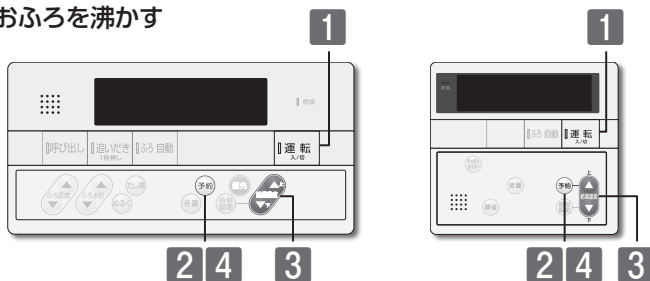
- たし湯ボタンは長く(5秒以上)押さないでください。入浴中にたし湯ボタンを5秒以上押し続けると、長期間使用しない場合の機器の水を抜くための状態となります。誤って押し続けた場合は、もう一度たし湯ボタンを押してください。アラーム番号[032]が表示された場合は運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にするとアラームは解除されます。たし湯をする場合は、再度、たし湯ボタンを押してください。

★メモ

- ふる待機しない(→P.39)に設定の場合、たし湯と給湯・シャワーを同時に使用すると、たし湯が先に終了しても出湯中のお湯の温度はふる温度のまま、給湯温度には戻りません。給湯温度に戻すには給湯・シャワーを一度止めてから再度出湯してください。
- 給湯温度50℃以上に設定している場合は、たし湯終了時(たし湯と給湯・シャワー同時使用のときにたし湯が先に終了した場合は出湯停止時)に、「給湯温度○○℃です 熱い温度にセットされました 注意してください」と音声ガイドが流れます。

お風呂を沸かす《予約運転》

☐ 予約でお風呂を沸かす



! ● 予約の設定は、予約時刻の60分前までに行う。
● 予約の設定は、予約運転ごとに毎回実施する。

まずは確認 ◎現在時刻(→P.15)・予約時刻は合っていますか？
◎ふろ温度・ふろ水位は合っていますか？(→P.31)

そして準備 浴槽の排水栓とふたをする

1 「**運転**」を「入」にする



※ふろアダプターがデラックスタイプの機器では、保温時間を設定することができます。
保温時間を変更する場合は「**保温時間を変更する場合**(→P.30)の**2**へ
変更しない場合は下記の**2**へ

2 ふたを開け「**予約**」を押す



※予約時刻を変更する場合は**3**へ
変更しない場合は**4**へ

🕒を表示し、予約時刻が点滅します。
※工場出荷時はPM6:00になっています。

3 上下ボタンで予約時刻を設定する



▲は時刻が進みます。
▼は時刻が戻ります。

※設定した予約時刻は、次回変更するまで記憶しています。

4 「**予約**」を押す



予約時刻の点滅から現在時刻の点灯に戻ります。

※予約ボタンを押さなくても、約10秒経過すると予約の設定を完了します。

お風呂を沸かす《予約運転》

予約解除

🕒が表示している場合
ふたを開け「**予約**」を押す



🕒が消えて予約を解除します。

【お風呂沸かしが始まっている場合】

「**ふろ自動**」を押す



保温時間は、ふろ予約設定時に変更することができます。

☐ **保温時間を変更する場合**

デラックスタイプふろアダプター使用時のみ

浴室リモコンで操作します。

2 ふたを開け「**予約**」を2秒以上押す



上下ボタンで保温時間を変更する



「**予約**」を押す



※予約ボタンを押さなくても、約10秒経過すると保温時間の設定を完了し、予約時刻の設定に変わります。

保温時間の設定を完了し、予約時刻の設定に変わります。(→P.29)
3以降の操作をしてください。(→P.29)

保温時間の目安(単位:時間)

4: 工場出荷時

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

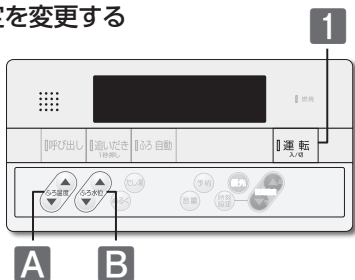
※高温水を差し、湯をためて保温しますので、保温時間を長く設定すると浴槽からお湯があふれる場合があります。

★重要

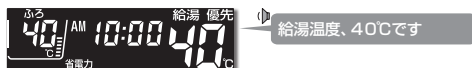
- 予約運転の沸き上がり完了時刻は、予約運転中のお湯の使用や残り湯があるとき、また気温によって多少前後する場合があります。
- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。停電からの通電復帰後は、現在時刻を合わせてから再度予約ボタンを押してください。
- リモコンに🕒が表示されたあとは、運転ボタンを「切」にしても予約運転は行われます。また、運転「切」の状態ですら予約ボタンを押すと予約は解除されます。
- 予約時刻の設定時に、上下ボタンを押さなかった場合「ふろ予約時刻を変更する場合は、上下ボタンで入力してください」と音声ガイドが流れてから、約10秒経過すると設定を完了します。このとき、「ふろ予約されました お風呂の栓はしましたか」と音声ガイドが流れます。

風呂温度・風呂水位を変更するには

□お風呂沸かしの設定を変更する



1 運転 入/切 を「入」にする



□風呂温度の設定

A ふたを開け 変更する

- ▲は温度が上がります。
- ▼は温度が下がります。

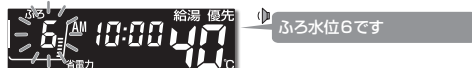


※省電力待機中に風呂温度ボタンを押すと風呂温度の変更はせず、画面を表示し「風呂温度〇°Cです」と音声ガイドが流れます。
※風呂温度については風呂温度の目安(→P.32)をご覧ください。

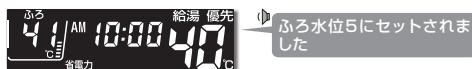
□風呂水位の設定

B ふたを開け 変更する

- ▲は水位が上がります。
- ▼は水位が下がります。



※風呂水位については風呂水位の目安(→P.32)をご覧ください。



水位変更後、約10秒経過すると設定を完了します。

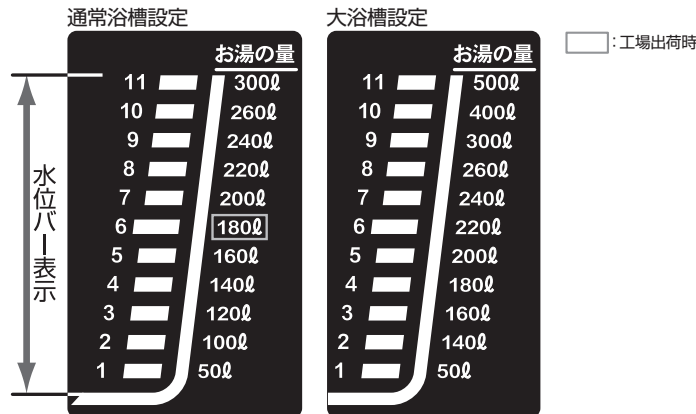
風呂温度・風呂水位を変更するには

風呂温度の目安(単位: °C)

40:工場出荷時

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|
| 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 |
| ぬるい | | | | | | | 標準 | | | あつい | | | | | |

風呂水位の目安



※風呂水位とは、浴槽に入れるお湯の量のことです。
※風呂水位設定時に風呂水位ボタンを押さなかった場合「風呂水位〇です」と音声ガイドが流れてから、約10秒経過すると設定を完了します。

お知らせ

- 夏場など水温が高い場合、風呂温度を低い温度に設定すると、お湯張り時に燃焼しない場合があります。

お願い

- 浴槽の種類や施工条件・外気温などによって、表示される温度や水位は実際と多少異なる場合があります。表示は目安としてお考えください。また、水位を高めにセットするとあふれる場合がありますので、最初は工場出荷時の設定で試して、そのときの実際の水位を確認してからお好みの水位に変更することをおすすめします。
- 風呂水位は、通常浴槽設定で出荷されています。改築などで大きなサイズの浴槽に変更される場合はお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

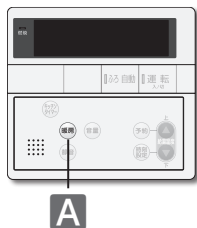
※メモ

- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- 風呂アダプターがデラックスタイプの機器では、風呂自動運転の保温中でも風呂温度の設定を変更することができます。

暖房運転をするには

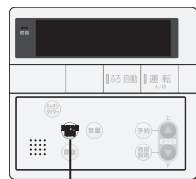
■暖房 / 浴室予備暖房運転をする

138-T381型(暖房ボタン付き)



A

138-T382型(浴室予備暖房ボタン付き)



B

リモコンの**運転**ボタンの「入」/「切」に関係なく使用できます。

□暖房運転をする 138-T381型(暖房ボタン付き台所リモコン)で暖房端末機器の「入」/「切」をします。

まずは準備 暖房端末機器のバルブを開ける

A ふたを開け **暖房** を押す



暖房を始めます

暖房を表示します。
機器の燃焼中は燃焼ランプ[赤]が点灯し、を表示します。

停止する ふたを開け **暖房** を押す

暖房端末機器のバルブを閉める



暖房を終わります

暖房が消えます。
燃焼ランプ[赤]・が消えます。

□浴室予備暖房運転をする 138-T382型(浴室予備暖房ボタン付き台所リモコン)で浴室暖房乾燥機の暖房の「入」/「切」をします。

B ふたを開け **浴室予備暖房** を押す



浴室暖房を始めます

浴室暖房を表示します。
機器の燃焼中は燃焼ランプ[赤]が点灯し、を表示します。

停止する ふたを開け **浴室予備暖房** を押す



浴室暖房を終わります

浴室暖房が消えます。
燃焼ランプ[赤]・が消えます。

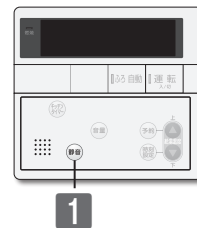
※浴室暖房乾燥機のリモコンで浴室暖房を「切」にしても停止できません。
また、浴室暖房乾燥機で設定されている運転時間がたつと自動的に停止します。

※ポイント

- 暖房・浴室予備暖房運転中のリモコンの燃焼ランプ[赤]・は、リモコンの**運転**ボタンの「入」/「切」に関係なく、暖房端末機器の運転状態により点灯および消灯をします。
- 暖房端末機器に運転スイッチがない場合や暖房端末機器が熱源機と信号線で接続されていない場合に、暖房ボタン付の台所リモコンをお使いください。
- 浴室暖房乾燥機に付属のリモコンで暖房(浴室予備暖房)運転を行っているときに**浴室予備暖房**ボタンを押すと、浴室暖房乾燥機の運転が止まります。また、暖房以外の運転を行っているときに**浴室予備暖房**ボタンを押すと暖房(浴室予備暖房)運転に切り替わります。
- 暖房端末機器や浴室暖房乾燥機の運転方法・温度調節の方法については、それぞれ付属の取扱説明書をご覧ください。

暖房運転をするには

■暖房時の運転音を小さくする



1

リモコンの**運転**ボタンの「入」/「切」に関係なく設定できます。

1 ふたを開け **静音** を押す



暖房静音セットされました
静音を表示します。

解除する ふたを開け **静音** を押す



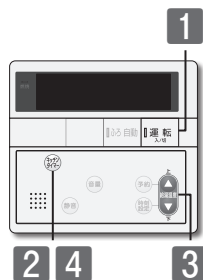
暖房静音解除されました
静音が消えます。

※ポイント

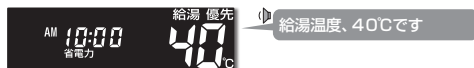
- 暖房静音は、暖房運転音を通常より静かにする機能です。この際、暖房能力は少し低下します。
- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- リモコンの**運転**ボタンの「切」にしても設定は解除されません。
- 暖房静音運転中に追いだき運転やふる自動運転を行うと、暖房能力が上がるので暖房運転音が静かにならない場合がありますが、異常ではありません。

★ キッチンタイマー

□ キッチンタイマーを使う



1 「運転」を「入」にする



2 ふたを開け「キッチンタイマー」を押す

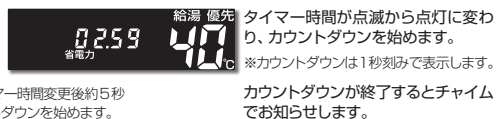


3 表示窓でタイマー時間を設定する



4 「キッチンタイマー」を押す

※キッチンタイマーボタンを押さなくても、タイマー時間変更後約5秒経過すると開始音(チャイム)を鳴らし、カウントダウンを始めます。



タイマー中止 「キッチンタイマー」を押す



★ 知っているると便利な機能

■ ミストサウナ準備完了お知らせ機能

リモコンの操作はありません

まずは確認

1. システムに対応した給湯暖房機およびミストサウナ機能付浴室暖房乾燥機が接続されていますか？
2. ミストサウナ機能付浴室暖房乾燥機のリモコンで、お知らせする設定がされていますか？

ミストサウナ完了

浴室が暖まりミストサウナ入浴の準備が完了すると、台所リモコンからメロディと音声流れます

ミストサウナの準備ができました

※メモ

- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- 2回目以降タイマー時間設定時に、タイマー時間を変えなかった場合「上下ボタンで入力してください」と音声ガイドが流れてから約10秒経過すると、開始音(チャイム)を鳴らし、カウントダウンを始めます。

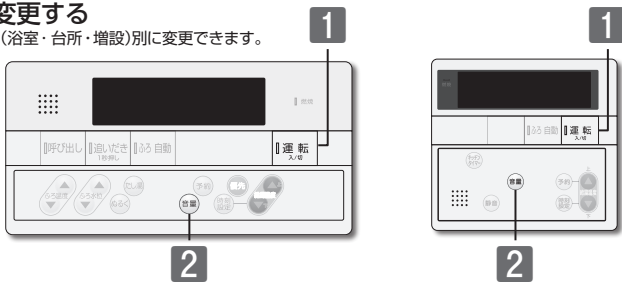
※メモ

- ミストサウナ準備完了お知らせ機能は、このシステムに対応した給湯暖房機およびミストサウナ機能付浴室暖房乾燥機が接続されている場合のみ、ご利用が可能です。
- ミストサウナ準備完了をお知らせするかどうかは、ミストサウナ機能付浴室暖房乾燥機のリモコンで設定できます。操作方法については、ミストサウナ機能付浴室暖房乾燥機付属の取扱説明書をご覧ください。

設定の変更をする

■音量を変更する

音量はリモコン(浴室・台所・増設)別に変更できます。



1 「運転」を「入」にする



2 ふたを開け「音量」を押す
「音量」を押して変更する



音量ボタンを押すたびに以下のように音量が変わります。



変更後、約10秒経過すると音量の設定を完了します。



音量の目安

2:工場出荷時

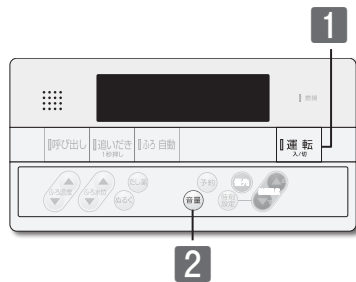
| 音量 | 音声の大きさ | リモコン操作 | 高温水差し湯呼び出し音声 | 警告音声 | 音声ガイド | 上段: ●を押したとき 下段: 設定完了時 |
|----|--------|--------|--------------|------|--------------------------|--------------------------|
| 3 | 大 | 大 | 大 | 大 | 音量3です 音量3にセットされました | |
| 2 | 中 | 中 | 中 | 中 | 音量2です 音量2にセットされました | |
| 1 | 小 | 小 | 小 | 中 | 音量1です 音量1にセットされました | |
| 0 | 無音声 | 小 | 小 | 中 | 音声を消します (音声ガイドはありません) | |
| - | 無音声 | 無音 | 小 | 中 | 音を消します (音声ガイドはありません) | |

※リモ

- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- 音量の設定時に音量ボタンを押さなかった場合“音量〇です 変更する場合はもう一度ボタンを押してください”と音声ガイドが流れ、約10秒経過すると設定を完了します。この間に“音量〇です”と音声ガイドが流れます。
- 音量を0、-に設定すると音声ガイドは流れません。ただし、警告音声や呼び出しボタンが押されたときのチャイム・呼び出し音声は音量“中”で、ふる自動・追いだき運転時の高温水差し湯音声は音量“小”で流れます。
- 音量の設定は連動していません。それぞれのリモコン(浴室・台所・増設)で設定を行います。

設定の変更をする

■省電力を解除する



※5分以上お湯の使用やリモコン操作がないと、リモコンの画面表示を消して電力の節約をします。

1 「運転」を「入」にする

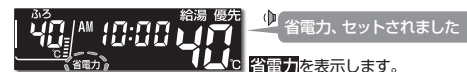


2 ふたを開け「音量」を5秒以上長押しする



設定を戻す

1~2の操作をする



省電力待機中に画面を表示させるには

各ボタンを押すと表示します

お知らせ

右図のボタンは、押すと画面が表示されると同時に、動作を開始します。



リモコン操作をしなくてもこんな場合は表示します

- お湯を使用しているとき
- 給湯温度が50℃以上に設定されているとき
- ふる自動運転中(保温/ふる予約を含む)
- 暖房燃焼中(凍結予防を含む)

お願い

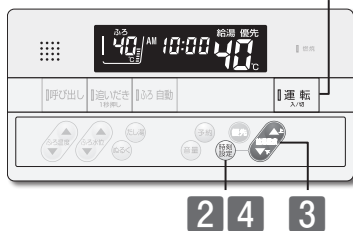
- 省電力待機中に給湯・シャワーを使うときは、画面を表示させて給湯温度を確認してからお使いください。

※リモ

- 省電力は運転ボタンの「入」/「切」では解除できません。
- 省電力待機中は、運転ランプが少し暗くなります。
- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- 台所・増設リモコンの省電力待機中に、浴室リモコンの呼び出しボタンが押されたときは、台所・増設リモコンは画面の表示をしないまま“おふろで呼んでいます”と音声のみが流れます。
- 省電力の設定は浴室リモコンで行います。台所・増設リモコンも同時に設定されます。

設定の変更をする

■常に給湯温度でお湯を使用する(ふる待機設定)



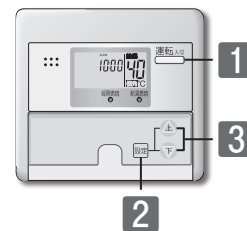
| | |
|----------------|---|
| ふる待機しない | ふる自動運転のお湯張り中やたし湯運転中に、給湯の同時使用が可能です。同時使用中の給湯・シャワーは、設定したふる温度で出湯します。 |
| ふる待機する | ふる自動運転のお湯張り中やたし湯運転中に給湯を使用すると、ふる自動運転のお湯張りやたし湯が一時中断(待機)します。給湯・シャワーは、リモコンに表示の給湯温度で出湯します。 |

- 1 **「運転」** を「切」にする
- 2 ふたを開け **「時刻設定」** を2秒以上長押しする
- 3 **「設定」** を押し **「1」** を選択する
- 4 **「時刻設定」** を押す

設定の変更をする

ご利用前の準備

■現在時刻を合わせる



- 1 **「運転」** ボタンを「入」にする
- 2 ふたを開け **「設定」** を押し、
現在時刻の右側に **◀** を表示させる
- 3 **「上」・「下」** を押して
現在時刻を設定する

※ **「上」・「下」** ボタンは1回押すと1分単位。押し続けると10分→30分→1時間単位で進み(戻り)ます。

ご利用前の準備
エックスMARK IIからの
取り替えでご利用の場合

※

- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- ふる待機設定は、浴室リモコンで行います。
- ふる待機しないに設定の場合、水圧・水温・配管条件によっては、ふる自動運転やたし湯が一時中断(待機)する場合があります。給湯・シャワーが終了すると、ふる自動運転やたし湯運転を再開します。
- ふる待機するに設定の場合、ふる自動運転やたし湯運転中の湯はり流量および使用する給湯・シャワーの流量によっては、ふる温度のままが出湯する場合があります。

※

- 出荷時の時刻表示は「AM1:00」になっています。AM(午前)・PM(午後)に注意してください。
- 設定時に **「上」** または **「下」** ボタンを押さないでいると約10秒後に確定となりますが、音声ガイドは流れません。

お湯を使うには(リモコンなしで使う)

ハーフタイプのエックス MARK IIからの取り替えで、本製品をご利用の場合のみリモコンなしで使用することができます。

■お湯を使用する

給湯栓を開ければ、お湯が出ます。お湯の温度は約60℃の高温(一定)になります。必ず混合水栓をお使いください。



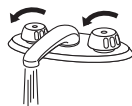
警告

●給湯・シャワーなどを使うときは、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使う。確認を怠るとやけどのおそれがあります。

お湯を出す

給湯栓を開ける

給水栓を開け、湯温を調節する



お湯を止める

給湯栓・給湯栓を閉める



お願い

- やけど対策上、サーモスタット式混合水栓の使用をおすすめします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。



お湯を使うには

■給湯温度を変更する



警告

- 給湯・シャワーなどを使うときは、リモコンに表示の給湯温度を確認し、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使う。確認を怠るとやけどのおそれがあります。
- 給湯・シャワー使用中は使用者以外、温度の変更や運転ボタンを「切」にしない。突然、熱湯が出てやけどをしたり、冷水が出て思わぬ事故につながる場合があります。特にシャワー使用時は、必ずリモコンに表示の給湯温度を確認してから使用してください。

1 運転ボタンを「入」にする



2 給湯温度で変更する



- ▲は温度が上がります。 ※給湯温度ボタンは1回ずつ押してください。押し続けても温度は変わりません。
- ▼は温度が下がります。

お湯を出す

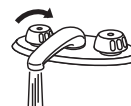
給湯栓を開ける



お湯を出している間は、リモコンの給湯燃焼ランプ [赤] が点灯します。

お湯を止める

給湯栓を閉める



お湯を止めると、リモコンの給湯燃焼ランプ [赤] が消灯します。ただし、他の給湯栓やシャワーを使用中のときは消灯しません。

お湯を使うには

□給湯温度の目安

給湯温度の目安(単位: °C)

40: 工場出荷時

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------|----|----|-----------|----|----|----|------|----|----|----|----|----|----|
| 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 50 | 55 | 60 |
| 食器洗いなど | | | シャワー・給湯など | | | | 給湯など | | | | 高温 | | |

※50℃以上に設定した場合には、警告音と音声でお知らせします。



熱い温度にセットされました 注意してください

お知らせ

- リモコンに表示の給湯温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温などにより必ずしも一致しません。リモコンに表示の給湯温度は目安としてお考えください。
- 夏場など水温が高い場合、給湯温度の目安を“食器洗いなど”に設定してもリモコンに表示の給湯温度より高い湯温になる場合があります。必要に応じて水を混ぜ、湯温を確認してからお使いください。
- お湯を1時間以上連続使用すると、給湯栓閉め忘れ確認のため(リモコンがある場合にはアラーム番号“011”を表示し)、燃焼が止まり水になります。その場合は給湯栓を閉め(リモコンがある場合は**運転**ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にしてからお使いください。

お願い

- 55℃以下の温度で給湯・シャワーを使用しているときは、やけど防止のため60℃には設定変更ができません。変更をしたいときは、一度給湯を止めてから設定してください。
- 給湯温度は**運転**ボタンを「切」にしても記憶されていますが、給湯温度を60℃に設定したときは、やけどなどの危険防止のため、再度**運転**ボタンを「入」にしたとき自動的に55℃に設定されます。
- やけど対策上、サーモスタット式混合水栓の使用をおすすめします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。
- 初めてご使用のときや、停電時・電源プラグを抜いた後など、通電復帰までに30分以上経過すると給湯表示が40℃になります。再設定を行ってください。

※メモ

- サーモスタット式混合水栓やシングルレバー混合水栓をお使いの場合、混合水栓の機種や構造により、温度調節ハンドルの示す温度よりぬるいお湯が出ることがあります。このような場合は、リモコンの設定温度をご希望の温度より5~10℃高めにしてください。

暖房運転をするには

■暖房端末機器の運転/停止

(暖房端末機器に運転スイッチがあり、信号線を接続している場合)

運転する

暖房端末機器の運転スイッチを「入」にする

138-T314型リモコンの暖房燃焼ランプ[赤]が点灯します。
暖房端末機器の運転を開始します。



停止する

暖房端末機器の運転スイッチを「切」にする

138-T314型リモコンの暖房燃焼ランプ[赤]が消灯します。
暖房端末機器の運転が停止します。

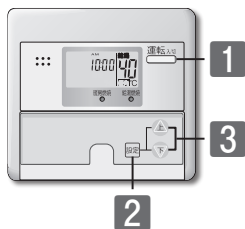


※メモ

- 暖房運転中のリモコンの燃焼ランプ[赤]は、リモコンの**運転**ボタンの「入」/「切」に関係なく、暖房端末機器の運転状態により点灯および消灯をします。
- 放熱器・床暖房などの暖房端末機器で使用できます。暖房端末機器の運転方法・温度調節の方法については、それぞれ付属の取扱説明書をご覧ください。
- 暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開けたままにしておいてください。

暖房運転をするには

■暖房時の運転音を小さくする



1 運転ボタンを「入」にする



□暖房静音の設定

2 ふたを開け設定を押し、暖房静音の右側に◀を表示させる



現在時刻・音量・暖房静音と◀を表示します。

▶ 静音です 上下ボタンで入力してください

3 ▲または▼を押し てONを選択する



▲・▼は表示が点滅している間に押します。選択後、しばらくたつと暖房静音設定を終了します。

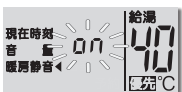
▶ 静音、セットされました



画面に暖房静音を表示します。

静音を解除する

1~2 の操作をする



3 ▲または▼を押し てOFFを選択する



▲・▼は表示が点滅している間に押します。選択後、しばらくたつと暖房静音設定を終了します。

▶ 静音、解除されました

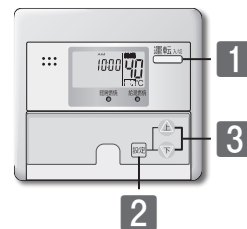
画面から暖房静音が消えます。

※※※

- 暖房静音は、暖房運転音を通常より静かにする機能です。この際、暖房能力は少し低下します。
- リモコンの運転ボタンを「切」にしても設定は解除されません。ただし、停電時・電源プラグを抜いた後など、通電復帰までに30分以上経過したときは、再設定が必要です。
- リモコンの運転ボタン「入」/「切」に関係なく暖房静音の設定ができます。
- 暖房静音運転中にお湯を使うと、暖房運転音が静かにならない場合がありますが、異常ではありません。

設定の変更をする

■音量を変更する



1 運転ボタンを「入」にする



給湯温度、40°Cです

2 ふたを開け設定を押し、音量の右側に◀を表示させる



▶ 音量です 上下ボタンで入力してください

3 ▲・▼を押し て音量を設定する



▲は音量が大きくなります。▼は音量が小さくなります。▲・▼は音量表示が点滅している間に押します。入力後、しばらくたつと音量設定を終了します。

▶ 音量、セットされました

音量の目安

3 : 工場出荷時

| 音量 | 0 | 1 | 2 | 3 |
|--------|----|---|---|---|
| 音声の大きさ | 無音 | 小 | 中 | 大 |

※※※

- 設定した音量は、運転ボタンを「切」にしても記憶されません。
- 設定時に▲または▼ボタンを押さないでいると約10秒後に確定となりますが、音声ガイドは流れません。
- ボタンの操作音、警告音「ピピピピ」の音は変更できません。
- 設定ボタンを順に押して「現在時刻」「音量」を続けて設定することもできます。
- 設定すると音声ガイドが「現在時刻、音量セットされました」と、設定した項目についてお知らせします。

❓ 冬の凍結予防するには

お願い

- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必ず必要な処置をしてください。怠ると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

処置 1 ← 通常の寒さのとき

処置 2 または 3 ← 外気温が-15℃を下回るとき -15℃より高くても風のある日

処置 3 ← 長期間使用しないとき

処置 1 凍結予防装置による方法

●機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防装置がついています。

機器の電源プラグは、抜かない

- 電源プラグを抜いたり分電盤のブレーカーを「切」にすると凍結予防装置がはたらきません。
- ◆凍結予防装置は、リモコンの運転ボタンの「入」/「切」に関係なく作動します。
- ◆配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材を巻くなど、地域に応じた処置をしてください。

暖房回路の凍結予防のためにガス栓は開けておく

- 暖房回路は気温が下がってくると自動的に暖房運転(燃焼)し、暖房回路を温めて凍結予防をします。
- ◆機器および端末機器の電源プラグを抜いたり、分電盤のブレーカーを「切」にしないでください。(端末機器の種類によっては凍結予防ができない場合があります)
- ◆暖房回路の凍結予防には、不凍液を使用する方法もあります。(→P.50)

お願い

- お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、リモコンの運転ボタンを押して「入」にしてください。

❓ 冬の凍結予防するには

処置 2 給湯栓から水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

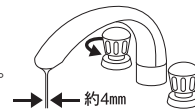
1 リモコンの運転ボタンを「切」にする
必ず行います。

※リモコンの運転ランプが消灯していることを確認してください。

2 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続ける

流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後に流量を確認してください。

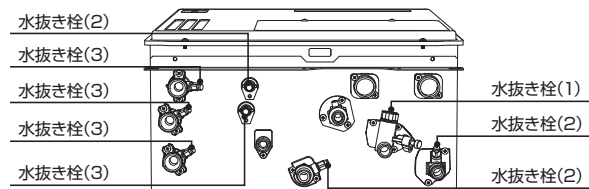
※サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は最高温度側にします。



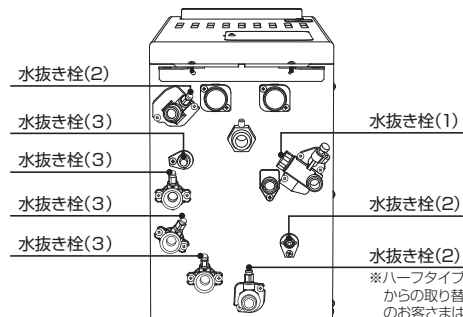
❗ 注意

- 給湯栓から水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。
- 通水使用の禁止として、リモコンの運転ボタンを「切」にした状態で給湯栓を開けて水を出さないようにお願いをしています。凍結予防の場合は問題ありません。(→P.6)
- サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓をご利用の場合は、再使用時の給湯温度設定にご注意ください。

□ 水抜き栓位置図



(図は235-T720型を示します)



(図は235-T730型を示します)

※ハーフトイプのエクスマークIIからの取り替えで、本製品をご利用のお客さまは外さなくてください。

❓ 冬期の凍結予防をするには

⚠️ 注意

- 使用後すぐに水抜きをしない。やかどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。
- 配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したフロントカバーを確実に取り付けます。（→P.53）

❗ 必ず行う

処置 3 機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で分電盤のブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

- 1 ガス栓と給水元栓を閉める** 機器の下部にあります。
- 2 浴槽の水を完全に排水する**
 - ※必ず、浴槽の水が排水されているか確認してください。
 - ※ハーフトタイプのエックスMARK IIからの取り替えて、本製品をご利用のお客さまは、2・3の操作はありません。
- 3 浴室リモコンの運転ボタンを「入」にし、たし湯ボタンを5秒間押し続ける**
- 4 すべての給湯栓を全開にする**
 - ※給水元栓を閉めているため、給湯栓を開けても水はほとんど出ません。水が出続ける場合は、給水元栓が開めているか確認してください。
- 5 水抜き栓(1)(2)を外す**
 - ※水抜き栓の位置は、**□水抜き栓位置図**（→P.48）をご覧ください。
- 6 暖房回路の水を抜く前に、不凍液注入の確認をする**
 - ※不凍液注入の有無は、機器フロントカバー貼付のラベルで確認します。
 - ※水抜き栓の位置は、**□水抜き栓位置図**（→P.48）をご覧ください。

[不凍液が入っている場合] **[不凍液が入っていない場合]**
7 8 の操作を行う 水抜き栓(3)を外す
- 7 必ず電源プラグを抜く**
 - コンセントは機器の周辺にあります。電源プラグを抜き忘れると機器の故障の原因となります。
- 8 水抜き栓からの排水を確認し、すべての水抜き栓を元に戻し、確実に閉める**

お願い

- 水抜きをした後は浴槽へ水を流しこまないでください。再び使用するまでそのままにしておいてください。
- 水抜きの操作をすると、機器本体だけでなく配管内の水も出てきます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

❓ 冬期の凍結予防をするには

□ 不凍液による方法

- 寒冷地では指定された不凍液を使用してください。指定以外の不凍液は機器に悪影響を与える場合がありますのでご注意ください。
- 不凍液は経年劣化しますので毎シーズン初めにお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスに点検を依頼してください。（有料）
- 不凍液の性能が低下している場合は交換（有料）が必要です。性能が低下したまま使い続けると、凍結・破損・腐食の原因になります。

□ 再使用する時

水抜き後、再度使用するときは次の操作をしてください。

⚠️ 注意

- 配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したフロントカバーを確実に取り付けます。（→P.53）

❗ 必ず行う

- 1 すべての水抜き栓およびすべての給湯栓が閉めてあることを確認する** ※水抜き栓の位置は、**□水抜き栓位置図**（→P.48）をご覧ください。
- 2 給水元栓を開ける** 給水元栓は機器の下部にあります。
- 3 機器や配管より水漏れがないか確認する
また、すべての給湯栓を開け、水が出たことを確認したら給湯栓を閉める** 水漏れがないことを確認したあと、給水元栓を全開にしてください。
- 4 ガス栓を全開にし、電源プラグを差し込む** ガス栓は機器の下部にあります。コンセントは機器の周辺にあります。
- 5 リモコンの運転ボタンを「入」にし、現在時刻を設定する**
- 6 給湯栓を開け、お湯が出ることを確認する**
- 7 ふる自動運転を行い、ふるアダプターからお湯が出ることを確認する** ※しばらく(1分程度)してもふるアダプターからお湯が出ない場合は、ふる自動運転を中止してください。

通水後初めての暖房・給湯・ふる使用で、リモコンにアラーム番号“173”“543”が出る場合

端末機器側の運転とリモコンの運転ボタンを一度「切」にし、機器の給水元栓が開いていること・すべての暖房水抜き栓が閉まっていることを確認し、電源プラグの抜き差しをしてから再使用してください。それでもアラームが出る場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

お願い

- 再使用するときは、すべての水抜き栓が確実に閉めてあることを確認してください。閉めかたが不十分だったり閉め忘れたりすると、そこから水漏れします。

❓ 冬期の凍結予防をするには

❑凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。凍結したままでは絶対に使用しないでください。解凍するまで待って、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

⚠️ 注意

- 凍結による水漏れに気づいたときは、速やかに給水元栓を閉め、機器の使用を中止する。床や壁などをぬらして生じる損害は、お客さまの責任となります。
- 配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したフロントカバーを確実に取り付ける。（→P.53）



1 ガス栓および給水元栓を閉める

機器の下部にあります。
※給水元栓を閉めるのは、配管が破損していた場合の水漏れを防ぐためです。

2 リモコンの運転ボタンを「切」にする

※リモコンの運転ランプが消灯していることを確認してください。

3 とまどき給水元栓を開け、給湯栓から水が出ることを確認する

給水元栓は機器の下部にあります。水が出てくれば使用できます。

4 給水元栓を全開にし、ガス栓を全開にする

必ず、機器および配管から水漏れがないことを確認します。

5 リモコンの運転ボタンを「入」にする

6 給湯栓を開け、お湯が出ることを確認する

7 ふう自動運転を行い、機器の水漏れがないことを確認する また、ふうアダプターからお湯が出ることも確認する

※しばらく(1分程度)してもふうアダプターからお湯が出ない場合は、ふう自動運転を中止してください。

🙏 お願い

- 給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、すべての給湯栓を閉めてから水道メーターを見るなど水漏れしていないことをご確認ください。

❓ 点検のポイント・お手入れのしかた

| | | |
|--------------|---|----------|
| ⚠️ 警告 | ●機器のフロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。 | 分解禁止 |
| ⚠️ 注意 | ●台所・増設リモコンは防水タイプではないので、水をかけない。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。 ●リモコンのお手入れには、シンナー・アセトン・ベンジンなどの有機溶剤や洗剤（塩素系洗剤・酸性洗剤・アルカリ性洗剤）、みがき粉（研磨剤の入った洗剤）を使用しない。リモコン本体が変色や変形することがあります。 | 禁止 |
| | ●機器本体のお手入れは、ガス栓を閉め、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行う。また、けがなどしないように、手袋などを着用し十分注意してください。 | |

❑点検のポイント(月1回程度)

次の6つのポイントで点検してください。

1. 機器および配管から水漏れはありますか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
2. 機器および配管からガスの臭気がしませんか？
3. 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
4. 機器の外観に異常は見られませんか？
5. 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありますか？
また、整然とされていますか？

機器のまわりに雑草や木くず・箱などで雑然としていると、機器の内部に害虫(ゴキブリなど)が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。



❑お手入れのしかた(月1回程度)

📌 機器本体およびリモコンのお手入れ

汚れは、湿ったやわらかい布で軽くふき取ってください。洗剤およびシンナー・ベンジンなどは、使わないでください。変色・変形する場合があります。



❑定期点検のおすすめ(有料)

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してお使いいただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。

なお、給水用具(逆流防止装置)については、(社)日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4～6年に1回程度をおすすめします。

点検は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへご相談ください。

🙏 お願い

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。
- 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

点検のポイント・お手入れのしかた

給水口フィルターの掃除

給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。次の要領で給水口フィルターを掃除してください。

1 給水元栓を閉める
給湯栓を開けて閉める

2 水抜き栓*を外す

3 歯ブラシなどで洗う

4 水抜き栓*を元に戻す

5 給水元栓を全開にし、
水漏れがないか確認する

*水抜き栓(給水口フィルター)の位置は、
□水抜き栓位置図をご覧ください。(→P.48)

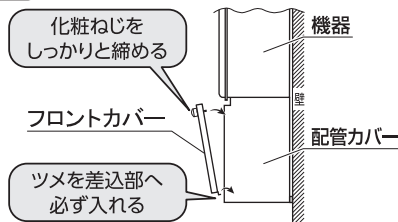
点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後はガス栓を全開にして、リモコンの**運転ボタン**を「入」にしてから給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じられたときや、機器または配管から水漏れているときは、機器の使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

配管カバー(または据置台)のフロントカバーについて

配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず外したフロントカバーを元のとおりに取り付けてください。

- ①フロントカバー下部のツメを差込部へ確実に差し込み、外れないことを確認。
- ②化粧ねじを緩みが無いように確実に締める。



お願い

- 給水口フィルターを外すと水が出ます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
- 再使用するときは、水抜き栓(給水口フィルター)を元に戻し、確実に閉めてください。閉めかたが不十分だったり閉め忘れりすると、そこから水漏れします。
- 配管カバー(または据置台)のフロントカバーを取り外した場合、作業終了後にはフロントカバーを元のとおりに取り付け、化粧ねじは緩みが無いように確実に締め付けてください。
※特に強風が予測される場合は、化粧ねじの緩みがないか点検をしてください。

故障かな?と思ったら

| こんなとき | こんなことが考えられます/ここを調べてください |
|------------------------------------|--|
| 給湯栓を絞らずに水になった | 給湯栓から出るお湯の量をかなり少なくすると、機器が燃焼を止め、水になります。給湯栓をもっと開いてください。 |
| 給湯栓を開けてもお湯が出ない | ガス栓・給水元栓が全開になっていますか。(→P.14) 断水していませんか。断水中は機器を使用できません。(→P.5) 給湯栓が十分に開いていますか。少ないとお湯にならない場合があります。 給水口フィルターが詰まっていますか。給水口フィルターの掃除をしてください。(→P.53) ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していませんか。 LPガスの場合、ガスがなくなっていますか。 リモコンの運転が「入」になっていますか。 機器の電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。(→P.14) |
| 給湯栓を開けてもすぐにお湯が出てこない | 機器から給湯栓まで距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。 |
| 低温のお湯が出ない 高温のお湯が出ない | ガス栓が全開になっていますか。(→P.14) 給水元栓が全開になっていますか。(→P.14) 給湯温度の設定は適切ですか。(→P.16・43) 夏場など、水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。 少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。 「ふる自動」や「たし湯」中にお湯を使用すると給湯温度の表示はそのまま、ふる温度のお湯が出ます。ふる自動やたし湯が終了しても、出湯中のお湯の温度はふる温度のまま給湯温度に戻りません。一度お湯を止めてから再度給湯栓を開いてください。 ※ふる自動やたし湯を一時中断して、給湯温度のまま出湯させる設定もあります。(→P.39) |
| 給湯温度の変更ができない | 操作しているリモコンの画面に優先が表示されていますか。 |
| 給湯栓から出るお湯の量が少ない 給湯栓から出るお湯の量が変わる | 機器から一度に出るお湯の量には限りがあります。同時に複数の給湯栓からお湯を出したり、「ふる自動」や「たし湯」運転をするとお湯の量が減る場合があります。 湯温を安定させるために自動的に湯量を調整しています。すぐに湯量は安定します。 給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量に変化するものがあります。 |
| お湯が白く濁って見える | 水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。汚濁とは違い無害なもので、異常ではありません。 |

| こんなとき | お風呂 こんなことが考えられます/ここを調べてください |
|---|---|
| お風呂の温度が熱い お風呂の温度がぬるい お風呂のお湯が少ない(多い) | ふる温度の設定は適切ですか。(→P.32) ふる水位の設定は適切ですか。(→P.32) 残り湯がある状態で「ふる自動」を行うと、水位が高くなる場合があります。 |
| 追いだきができない 追いだきが停止する | ふるアダプター上部より5cm以上お湯(水)が入っていますか。足りない場合は、お湯(水)を足してください。 断水していませんか。断水中は機器を使用できません。(→P.5) |
| お風呂の沸き上がりかいつもより時間がかかる | ふる待機設定を「する」(給湯優先)に設定した場合、「ふる自動」と給湯を同時に行うと、給湯使用中の間はお風呂のお湯張りが一時中断します。給湯を止めるとお湯張りを再開します。そのためお風呂の沸き上がりにかかる時間がいつもより長くなります。 |
| 追いだきボタンを押した後なかなかお湯が出てこない | スタンダードタイプのお風呂アダプターを使用して空だきした場合、ふる配管内に残った熱いお湯がさめるまで、開始時間がかかることがあります。そのままお待ちください。 |

故障かな?と思ったら

| 機器 | |
|----------------------------|---|
| こんなとき | こんなことが考えられます/ここを調べてください |
| 排気口から白い湯気が出る | 冬場など外気温が低いときには、排気ガスが外気に触れると結露し、白い湯気に見えます。異常ではありません。 機器を使用していない場合でも、暖房回路の凍結予防時には白い湯気が出ます。 |
| 給湯使用中や給湯終了後しばらくの間コトコトと音がする | お湯の温度を安定させるためにモーターを動かしているときに発生している音で、故障ではありません。 |
| 出湯停止後しばらくファンの回転音がする | 再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。 |
| 機器のオーバーフローから少量の水が流れることがある | スタンダードタイプのふるアダプターを使用していて空だきした場合、構造上、一時的に水(湯)が出るがありますが、故障ではありません。残り湯がふるアダプターより上にあることを確認してください。 |
| ときどき水抜き栓から水が出る | 水抜き栓が確実に閉まっていないと水漏れします。 |
| 雷が鳴ったあと機器が作動しない | 落雷の際に、機器内の漏電安全装置が作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。 |

| リモコン | |
|---------------------------------|---|
| こんなとき | こんなことが考えられます/ここを調べてください |
| 運転ボタンを押しても「入」にならない | 停電していませんか。(→P.5) 電源プラグがコンセントに差し込まれていませんか。(→P.14) |
| リモコンの画面表示がいつのまにか消えている | お湯を使わないまま、またはリモコンの操作をしないまま5分以上たつと、画面表示が消えます。(省電力待機中) |
| リモコンの時刻表示が「-:-:-」になっている | 停電や電源プラグを抜いた後、通電復帰後の時刻表示は「-:-:-」になります。時刻合わせを行ってください。(→P.15) |
| 音が出ない | 音量の設定が無音や無音声になっていませんか。(→P.37・46) |
| 音が小さい | 音量の設定は適切ですか。(→P.37・46) |
| 音がこもる | スピーカー部分に湯(水)がかかっていますか。 |
| 時計表示が合っていない(138-T314型リモコンの場合のみ) | 停電や電源プラグを抜いた後、通電復帰までに30分以上経過すると時刻表示は「AM1:00」になります。時刻設定を行ってください。(→P.40) 温度設定なども初期状態に戻りますので、再設定をしてください。(→P.42) |

| 暖房 | |
|---------------------------------|--|
| こんなとき | こんなことが考えられます/ここを調べてください |
| 床暖房の温度が低くなったり、浴室暖房乾燥機の温風温度が低下する | 暖房・給湯(またはおふる沸かし)を同時に行うと一時的に能力が下がり、床暖房の温度や浴室暖房乾燥機の温風温度が、低くなる場合があります。 |
| 床面がなかなかあたたまらない | 床仕上げ材の種類・外気温度・住宅構造などにより床暖房があたたまるまでの時間は異なります。 床暖房の温度設定は適切ですか。 暖房・給湯(またはおふる沸かし)を同時に行うと能力が下がり、床がなかなかあたたまらない場合があります。 |

| その他 | |
|--------------|---|
| こんなとき | こんなことが考えられます/ここを調べてください |
| 浴槽・洗面台が青く見える | 湯あかが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがありますが、健康上問題はありません。浴室や洗面台の掃除をこまめに行うことで着色しにくくなります。 |

故障かな?と思ったら

□アラーム表示について(リモコンに表示されます)

機器に不具合が生じると、その原因をリモコンにアラーム番号で表示または点滅してお知らせします。

〔浴室リモコン〕

アラーム番号によっては、給湯やふる温度表示部に補足の番号が出る場合があります。ご連絡の際は、アラーム番号と併せてお知らせください。



〔台所/増設リモコン〕

簡易表示のため、アラーム番号のみを点滅表示します。



〔138-T314型/台所リモコン〕

簡易表示のため、アラーム番号のみを点滅表示します。



| お客さまで対処可能なもの | | |
|--------------|-----------------|--|
| アラーム番号 | 原因 | 処置 |
| 011 | 給湯を60分以上連続で使用した | 給湯栓を閉める。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。 |
| 032 | 凍結予防水抜き異常 | 給水元栓が開閉していることを確認する。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。 |
| 111*1 | 給湯側の点火不良 | ガス栓が全開になっていることを確認する。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。 *1 アラーム番号111・121が表示されたときは、給湯栓を閉めることによりアラームが解除される場合があります。 *2 アラーム番号113・123が表示されたときは、すべての暖房端末機器の運転スイッチの「入」/「切」も行ってください。 |
| 113*2 | 暖房側の点火不良 | |
| 121*1 | 給湯側失火 | ふるアダプターの上部より5cm以上お湯(水)を入れてから、運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。 給湯栓がわずかに開いていないか確認する。 断水でないこと、または給水元栓が全開になっていることを確認する。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。 |
| 123*2 | 暖房側失火 | |
| 152 | 浴槽水なし(水位がたりない) | |
| 562 | 注湯・注水ができない | |


◇処置をしてもなお、アラームが表示されるとき、上記以外のアラームが表示されたとき、その他わからないときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスまでお問い合わせください。

| 以下の場合には、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスまでご連絡ください | | |
|--|-----------|---|
| アラーム番号 | 原因 | 状態 |
| 100 | 燃焼に異常が生じた | 良好な燃焼を維持できず能力を低下しました。機器は使用できませんが、安全のため修理を依頼してください。そのまま使用すると「990」となり、機器の使用ができなくなります。 |
| 990 | 燃焼に異常が生じた | 機器の使用はできません。修理を依頼してください。 |

| その他のアラーム | | | | | | | | | |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 002 | 030 | 035 | 140 | 170 | 173 | 300 | 311 | 313 | 321 |
| 331 | 332 | 342 | 343 | 390 | 422 | 433 | 502 | 510 | 513 |
| 543 | 610 | 623 | 651 | 652 | 660 | 700 | 702 | 710 | 711 |
| 720 | 740 | 750 | 752 | 763 | 900 | 903 | | | |

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(→P.54~56)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合にはご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。
 - アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1)お名前・ご住所・電話番号・道順(付近の目印など)
 - (2)型番(例) 235-T720型
ガスの種類(例) 13A
- 
- ※型番・ガスの種類は機器本体前面の銘板をご覧ください。(→P.2)
- (3)現象
故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく。
 - (4)訪問ご希望日

保証について

- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証期間・保証内容などを確認の上、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されると、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打ち切り後10年です。但し、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

BL認定品について

- BL認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付き」です。
- 一般財団法人ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、改造・調整の必要があります。お買い上げの販売店または、転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービスなどについてわからないとき

- お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。(機器の故障や凍結および万が一のガス漏れを防止するため)
 - (1)ガス栓を閉めます。
 - (2)給水元栓を閉めます。
 - (3)機器の水抜きを行います。(→P.49)
 - (4)電源プラグを抜きます。

「あんしん点検」のおすすめ

本製品は、ご使用開始から10年前後をめぐりに「あんしん点検」(有料・任意点検)をお受けいただくことをおすすめいたします。

■あんしん点検について

【点検の内容について】

- あんしん点検は、お客さまの任意で受けていただく有料の点検です。(法定点検ではありません)
- あんしん点検は、点検時点での製品の安全を確認するためのもので、製品の延命や性能の保証を延長するものではありません。
- 点検の実施は、大阪ガスまたは大阪ガスが委託した事業者が行います。
- 点検の内容および点検基準は、「経済産業省関係特定保守製品に関する省令」に定められた法定点検の内容、基準を参考に、当社で設定しています。(例:製品の設置状況の確認、作動確認、内部の漏れ、詰まり、変色、性能確認など)
- 点検の結果は、「点検作業票」にてお知らせします。点検の結果、何らかの整備(修理・部品の交換など)が必要な場合には、整備内容についてご提案させていただき、お客さまにご了解をいただいた上で行います。

【点検料金および点検の依頼先について】

- 点検は有料で実施させていただきます。また点検の結果、整備を実施する場合は、別途整備費が発生いたします。
なお、あんしん点検の内容や料金などにつきましては、下記のアドレスからご覧いただけます。
<http://www.osakagas.co.jp/>
インターネットでご確認できない場合は、別紙記載の「大阪ガスのお問い合わせ先」にご連絡ください。

【点検を依頼されるとき】

- 点検のお申し込みは販売店または、もよりの大阪ガスへご依頼ください。

■設計上の標準使用期間について

- 本製品は、設計上の標準使用期間※を10年と算定しておりますので、ご使用開始から10年前後をめぐりに「あんしん点検」をお受けいただくことをおすすめいたします。

※設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間になります。「無料修理保証期間」とは異なりますのでご注意ください(無料修理保証期間は保証書を参照願います)。

仕様一覽

〔仕様表〕

| 項目 | 内容 | | | |
|----------|--------------------|---|-------------------|------|
| 型番 | 235-T720型 | 235-T722型 | 235-T725型 | |
| 型式名 | GH-A160AW | GH-A160AT | GH-A160AB | |
| 外形寸法(mm) | 幅470×奥行240×高さ600 | | | |
| 質量(kg) | 29 | 29 | 29 | |
| 種類 | 給湯方式 | 先止め式 | | |
| | 暖房方式 | 温水循環方式 | | |
| | 追いだし方式 | 高温水供給方式(80℃) | | |
| 類 | 給排気方式 | 強制排気式 | | |
| 設置方式 | 屋外壁掛設置形 PS標準設置形 | PS扉内設置形 (前方排気延長可) | PS扉内設置形 後方排気延長 | |
| 点火方式 | ダイレクト着火 | | | |
| 水圧 | 使用水圧 | 100~750kPa(1.0~7.5kgf/cm ²) | | |
| | 最低作動水圧 | 10kPa(0.1kgf/cm ²) | | |
| 最低作動差 | 給湯 | 1.9ℓ/分 | | |
| | 暖房 | 0ℓ/分以上(締切り使用可) | | |
| | ガス | 15A(R1/2オネジ) | | |
| 接続 | 給水・給湯 | 15A(R1/2オネジ) | | |
| | 暖房低温行き | CCHMジョイント | | |
| | 暖房高温行き | CCHMジョイント | | |
| | 戻り | CCHMジョイント | | |
| 系統 | ふろ | 15A(G1/2オネジ) | | |
| | オーバーフロー | 15A(R1/2オネジ) | | |
| 電気関係 | 電源 | 本体電源 AC100V(50/60Hz) | | |
| | リモコン側 | DC24V以下 | | |
| | 消費電力 | 1.5W(浴室・台所リモコン取付時) | | |
| | 同時使用 | 184W | 187W | 190W |
| | 凍結予防作動時 | 270W | | |
| リモコンコード | 浴室リモコン2心、台所リモコン2心 | | | |
| 安全装置 | 立消え安全装置(フレームロッド) | 空だき安全装置(バイメタル式) | | |
| | 過熱防止装置(コードヒューズ) | 空だき防止装置(水量センサー・水位電極) | | |
| | 過電流防止装置(電流ヒューズ) | 漏電安全装置(漏電リレー) | | |
| | 過圧防止安全装置(スプリング式) | 沸騰防止装置(出湯温サーミスタ) | | |
| | ファン回転検出装置(燃焼ファン) | | | |

〔能力表〕

| 使用ガス 使用ガスグループ | ガス消費量kW [kcal/h] | | | 出湯能力(最大)ℓ/分 | | 能力kW [kcal/h] | | ガス接続 |
|------------------|------------------|----------------|----------------|--------------|--------------|---------------|-------------|--------|
| | 給湯・暖房 同時使用 | 給湯(最大) | 暖房 | 水温+ 25℃上昇 | 水温+ 40℃上昇 | 追いだし | 暖房 | |
| 都市ガス | 13A 43.8[37,700] | 33.6[28,900] | 10.2[8,800] | 16.0 | 10.0 | 13.2[11,340] | 8.49[7,300] | 15A |
| LPガス | 43.8[3.13kg/h] | 33.6[2.40kg/h] | 10.2[0.73kg/h] | 16.0 | 10.0 | 13.2[11.340] | 8.49[7,300] | (R1/2) |

◎ガス：JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。

◎出湯能力は、水圧200kPa[2kgf/cm²]のときで、温度を高くに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

仕様一覽

〔仕様表〕

| 項目 | 内容 | | | | |
|----------|--------------------|---|-------------------|-------------------|------|
| 型番 | 235-T730型 | 235-T732型 | 235-T733型 | 235-T735型 | |
| 型式名 | GH-A161AWS | GH-A161ATS | GH-A161AUS | GH-A161ABS | |
| 外形寸法(mm) | 幅248×奥行380×高さ776 | | | | |
| 質量(kg) | 32 | | | | |
| 種類 | 給湯方式 | 先止め式 | | | |
| | 暖房方式 | 温水循環方式 | | | |
| | 追いだし方式 | 高温水供給方式(80℃) | | | |
| 類 | 給排気方式 | 強制排気式 | | | |
| 設置方式 | PS標準設置形 屋外括置設置形 | PS扉内設置形 | PS扉内設置形 前方排気延長 | PS扉内設置形 後方排気延長 | |
| 点火方式 | ダイレクト着火 | | | | |
| 水圧 | 使用水圧 | 100~750kPa(1.0~7.5kgf/cm ²) | | | |
| | 最低作動水圧 | 10kPa(0.1kgf/cm ²) | | | |
| 最低作動差 | 給湯 | 1.9ℓ/分 | | | |
| | 暖房 | 0ℓ/分以上(締切り使用可) | | | |
| | ガス | 20A(R3/4オネジ) | | | |
| 接続 | 給水・給湯 | 15A(R1/2オネジ) | | | |
| | 暖房低温行き | CCHMジョイント | | | |
| | 暖房高温行き | CCHMジョイント | | | |
| | 戻り | CCHMジョイント | | | |
| 系統 | ふろ | 15A(G1/2オネジ) | | | |
| | オーバーフロー | 15A(R1/2オネジ) | | | |
| 電気関係 | 電源 | 本体電源 AC100V(50/60Hz) | | | |
| | リモコン側 | DC24V以下 | | | |
| | 消費電力 | 1.5W(浴室・台所リモコン取付時) | | | |
| | 同時使用 | 180W | 185W | 188W | 192W |
| | 凍結予防作動時 | 263W | | | |
| リモコンコード | 浴室リモコン2心、台所リモコン2心 | | | | |
| 安全装置 | 立消え安全装置(フレームロッド) | 空だき安全装置(バイメタル式) | | | |
| | 過熱防止装置(コードヒューズ) | 空だき防止装置(水量センサー・水位電極) | | | |
| | 過電流防止装置(電流ヒューズ) | 漏電安全装置(漏電リレー) | | | |
| | 過圧防止安全装置(スプリング式) | 沸騰防止装置(出湯温サーミスタ) | | | |
| | ファン回転検出装置(燃焼ファン) | | | | |

〔能力表〕

| 使用ガス 使用ガスグループ | ガス消費量kW [kcal/h] | | | 出湯能力(最大)ℓ/分 | | 能力kW [kcal/h] | | ガス接続 |
|------------------|------------------|--------------|-------------|--------------|--------------|---------------|-------------|--------|
| | 給湯・暖房 同時使用 | 給湯(最大) | 暖房 | 水温+ 25℃上昇 | 水温+ 40℃上昇 | 追いだし | 暖房 | |
| 都市ガス | 13A 43.8[37,700] | 33.6[28,900] | 10.2[8,800] | 16.0 | 10.0 | 13.2[11,340] | 8.49[7,300] | 20A |
| | | | | | | | | (R3/4) |

◎ガス：JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。

◎出湯能力は、水圧200kPa[2kgf/cm²]のときで、温度を高くに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。